京城日報

二月十日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇濠洲首相の決意
國際聯盟軍備縮小に反對

六日巴里電に曰く濠洲首相ヒューズ氏は新聞記者との會談に於て力說して曰く國際聯盟は濠洲の一項を加ふるを得ざるべし何となれば濠洲は最も密接なる關係を有するを以て國際聯盟の一員として共同戰爭に參加すべき條件を與ふるを得ざるべし又未だ正體の知れざる機關をして陸海軍を司配せしむるが如きは到底承認し得ざるものなればなり、從つて軍備縮小に對しても承認を與へざるべし又如何に國際聯盟が完成せられたりとするも委託統治權問題を決定するには現在の五大國會議以外に適當なるもの無かるべし何となれば五大國會議の任務は平和を造るにあるも國際聯盟の任務は平和を維持するにあればなり吾人は吾人の誇るべき光輝ある見地より吾人の見解を把持せざるべからざるものなるが這は延いて世界の輿論を動かさずんば止まざるものなり吾人は奴隷を廢し黑奴を保護する上に於て光輝ある歷史を有するものなり濠洲聯邦政府は余の此の決意を飽く迄貫撤すべしとの强硬なる使命を與へ居れりと（紐育電報）

◇聯盟憲法の制定

國際聯盟委員會は國際聯盟憲法十一箇條を可決せり徵兵廢止に關する條項のみは撤廢せられたり（巴里電報）

◇聯合國西鐵管理

聯合國は協約に基き西伯利鐵道の管理を行ふこととなれり（巴里電報）

◇黑龍江匪賊橫行
北滿方面の過激派と通ず

最近黑龍江省拜泉地方に約一千名より成れる匪賊の一團橫行し蒙匪約三百名是に投じ諸所に放火掠奪を逞しうしつゝあるに依り黑龍江第一旅團長巴英額は部下を率ゐ討伐に赴きたるも賊勢猖獗にして討伐意の如くならざるのみならず一時影を潛めたる北滿方面の過激派は近時日本軍の一部撤退と共に又復擡頭し右匪賊と連絡して跋扈跳梁せんとする形勢あるに依り鮑黑龍江督軍は中央政府及び東三省巡閱使張作霖氏に討伐援助を求め來りたるを以て長春第二十九旅團長吳俊陞氏を先鋒司令として一個旅團を率ゐしめ滿洲里方面に出動せしむべしと（奉天電報）

◇外交委員會議決

華盛頓來電に依れば米國下院外交委員會は六日講和會議に於る愛蘭の自決に關する主張は米國に有利なるを以て其實現を希望するの意を發表する議案を採決せるが該案は多分下院を通過すべしと豫期せらる（紐育電報）

◇兩港罷業擴大

シアトル及びタコマ兩港に於る罷業事件は形勢益不穩の爲め軍隊を備ふるに至れり（紐育電報）

◇メ內相殺害さる

ホンジュラス（中米の共和國）大騷動は倍々擴大し內相メジア氏は殺害されたり（紐育電報）

◇獨逸首相の聲明
國民議會の開會を宣言す

獨逸首相エベルト氏は獨逸國民議會の開會を宣言せり而して聲明して曰く吾人はワイマール時代の昔を偲び眞理と正義の帝國たらんと（巴里電報）

◇倫敦の鐵道紛擾

倫敦に於る鐵道紛擾は依然として繼續せり（倫敦電報）

◇段氏の復活運動

段祺瑞氏の復活運動は最近劇烈を極め和平會議决裂せんか段內閣は必ず出現すべしと觀測されつつあり（北京電報）

定價　本紙一箇月七十五錢　廣告料　發行兼編輯人　奥山直毅　印刷人　小川三之介　發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　電話

◇電線降雨被害

九日午前十時東部遞信局發表に依れば前日來の降雨にて東海道方面其他電信及び電話線に被害あり是れが爲め電信十六回線電話十五回線不通となりたるも九日中には修理開通の見込なりと（東京特電）

◎米國對支借款
銀行團復歸準備

米國對支投資團代表者アボット氏は一月廿二日桑港を出發し七日橫濱着直ちに支那に赴くべしと云ふアボット氏に依り代表せらるゝ米國資本團は昨年七月米國々務省の慫慂に依り從來

▲東洋と經濟的 關係を有せし米國各地銀行家の組織せしシンヂゲートにして其目的は主として對支投資にあり今回アボット氏渡支の用向は（第一）支那の鐵道事業其他經濟的借款に應ずる下調査を爲すと共に（第二）支那幣制借款に應ぜん準備なるべしと傳へらる支那政府は昨年八月幣制改革に關する大總統令と共に金券條令を公布し日本の單獨借款に依り幣制の改革を行はんとせり然るに米國は英佛兩國政府を動かし相共に支那政府に對し四國銀行團は千九百十一年の

▲幣制借款契約 に依り支那幣制改革に付き優先權を有するを理由とし金券借款に抗議せり是等の關係より見て米國政府が自國資本團をして支那幣制改革に參與せしめん希望を有するは一般に認識せられし所にして今回アボット氏北京著の上は支那當局及び日英佛各銀行團代表者等と會見し幣制借款問題に付き意見を交換すべき事想像に難からず而してアボット氏の代表せる米國資本團は獨り幣制借款のみならず一般的政治借款にも應ぜんとする意思ありと信ぜらる唯

▲昨年末非公式 に支那當局に通告せしが如く從來支那政府が四國銀行團以外の外國資本家と締結せし一切の借款契約を取消す可しと云ふ條件付にては支那側との交渉に支障を生ずべく今回は米國銀行團も是等の條件を緩和するに至らん尚米國が是等の政治借款に應ぜんが爲めには先づ銀行團に復歸せざるべからず之に就ては日本始め英佛兩國も衆々希望し居れるを以て

▲米國の銀行團 復歸は容易に行はるべきが只對支投資の正式交渉に就ては日英佛米伊五國聯合して支那南北に對し妥協を勸告せし關係上南北和平會議開催、南北統一後に非ざれば米國銀行團も支那政府に提議せざるべしと信ぜらる要するに政治借款たると經濟借款たるを問はずアボット氏渡支後の米國の對支借款上に於ける活躍は注目に値すべしと云ふ（東京）

◎郵規一部改正

朝鮮と內地臺灣樺太及び支那間郵便規則中改正の件は十二日の官報にて發布即日より施行のことゝなれるが右は煙草稅令の改正に依り葉煙草、煙草等に移入稅を課せらるゝこととなり大正六年訓令第一號に依る第二號樣式を改正せられたる結果今回改正せるものなり

◎新航路調査

朝鮮總督府より朝鮮郵船會社に命令し居る朝鮮沿岸航路滿鮮航路並に內地航路は全部大正八年度を以て滿了し大正九年度より全部更改する事となり居れるに付遞信局海事課にては一昨年來九年以降に於ける新航路の計畫に付調査を進め居れるが九年度の豫算は來る七八月までに確定の必要あり唯大戰は昨秋を以て終り目下の海運界は混沌たる狀勢を誘致し居れど各種の關係より見て今日の動搖は過渡期の波瀾と云ふべく來る七八月頃までに略安定を得前途の見當も立つに至るべく新航路の調査上には大戰の終熄は好都合なりと

◎期米三十九圓臺
正米も期米と共に高し

連日奔騰を續けつゝある仁川期米は十日の前場に至つて遂に三十九圓の大關門を突破するに至れりこれ外米輸入難の事實農相の口より出でて一般に知了され米價調節を唯一の賴みとして賣り込める退き賣方連雖連捷の結果の買ひ進みより來りし熱狂相場にして目先外米若くば支那米の大輸入見込なしとすれば米價の昂騰は那邊にまで及ぶか明かならず尙ほ鮮米の昂騰相踵ぐは內地米不足の結果鮮米大移入の計畫政府筋にもありと云ふ如き材料は自然農家の賣り惜しみを來し居れる一原因となり居れり十日の仁川期米先限寄附は卅八圓九十錢高値三十九圓なりしも

▲季節の米價 として餘りに高騰せるより利喰ひ値頃賣りも續出し止めは高値に比し十九錢を落して三十八圓八十一錢となれり又仁川の改良米は三十九圓見當を唱へ京城正米も一昨日に比すれば錢高を示せるも內地移出は依然不引合なれど手持筋は內地に引付けらるる事を信じ居れる者の如し

◎前獨帝責任論
獨逸側の主張

革命以來獨逸はスパルタカスの騷擾に次ぎ政治上の總選擧あり國民の注意は外交問題殊に講和問題に關しては餘り注意を拂ふ樣子なきが其內比較的議論に上り又は上らんとしつゝあるは賠金問題戰爭責任問題及び國際聯盟問題なりとす今戰爭責任問題に關し議論の趨勢を略述せば左の如し

▲戰爭責任問題 に關しては社會黨政府の組織と共に直ちに公表する所ありカウツキー氏外務省に入り機密文書の研究に從事せる結果獨逸政府は戰爭責任問題解決を爲し中立國人より成る委員會を設け各交戰國政府に外交文書を提出して該委員の研究に委すべきことを提議せんとし獨來バイエルンの宰相アイスネル氏は獨逸政府の外交を攻擊せる內特に戰爭責任問題を前面に爲し置くことの急務なるを述べ此主張には各方面より反對ありしに拘らず結局遂に外相の更迭を見るに至り戰爭責任問題に關する

▲議論一時下火 となりしが講和會議に於て戰爭責任問題起ると共に多少該問題の復活を促しバイエルンに於ける論戰となり近くは又外相ブロックドルフ、ランツアウ伯が一月二十五日外國新聞通信員を集めて一場の演說を爲せる際にも該問題に言及し戰爭責任問題の解決は獨逸人の大いに重要視する所なりとし中立委員會開設の論を繰返せり殊に巴里に於て皇帝責任問題講和會議の議題に上るや此點は議論の焦點となり半官報北獨日報は一月廿一日號に於て

▲大に皇帝辯護 の議論を爲し先づ佛國學者の意見を紹介せる後該意見が實際法理上何等價値なく皇帝の責任は從來の法律上に出づるものなり法律的に云へば罰すべき規則なく判決すべき法廷なきを以て國際違反として國際聯盟の裁判所にて決定すべきものとの論斷あるも法理上法規の効力は既往に遡らざることは明白なり此法理を無視せる佛國法律學者の言はクレマンソーの命により法理を曲げたるものにて學問界よりは法的確信政治上の希望との判斷を受くるあるのみと論述し保守派新聞紙も同樣の論調あり一月廿五日クロイツ、ツアイツングは佛國學者の意見は寢耳に出でたるものなり從つて

▲皇帝引渡問題 は講和條件の一たるべきを覺悟せざる可からず之に對する方策一あるのみ即ち憲法に據れば獨逸帝國の政治に對する責任は宰相にして皇帝にあらず皇帝の前に宰相立つべしと論じ更に一月二十七日フランクフルター・ツアイツングも其社說に於て佛國政府の意見なるものは法理に據らず皇帝の行動は政治的にして國際犯と云ふが如きものにあらず所謂殘忍犯なるものは立證の要あり從つて皇帝は引渡さるべきものに非ずとし更に皇帝が直接政治を爲さゞりしことを米國大使ホワイト氏の

▲第一平和會議 に關する調書により立證し吾人は皇帝を好まず殘忍行爲は双方にあり戰爭は一人の責任に非ず皇帝は戰爭開始者なりと云ふは不當なり皇帝は今や亡命者として既に罰を受け居れり之れ以上之れを追窮すべからずと結論し居れり要するに政府當局は戰爭責任問題の解決を要求するもこは中立國委員に委すべしとなし皇帝責任問題に關しては政府側及び保守派の辯護を見たるのみならず民主的意見を代表する方面に於てすら之に反對し居る現狀にして責任問題の起りしにより皇帝に對しては却つて同情を惹きつつあるは注意すべき點なり

◎京城債權團の
買煽中止警告
白南信に對し

需給關係より來る米價の騰躍は大勢上止むを得ずとするも客月より本月初旬に亘る南鮮方面の米價騰貴は鮮山地方に於ける粗里の地主白南信等の擅揚大に與つて力あり白の如き生產者たる立場を忘れて實米の買煽りを行ひ米高を誘致するは不穩當なりとの說は各方面に出で居れるが同人及び同人の長男たる白寅基は往年土地の買收並に東西煙草商會の經營及び他の事業にて巨額の債務を京城の銀行並に某々會社に負ひその後白等の所有に係る土地の移放賣等により若干の償還をなせしも然も尚ほ約三十萬圓內外を剩し居れるに付該額を白父子は朝鮮殖產銀行より借換をなすべく深田支配人は昨年來運動繼續中なり然るに殖銀にては白が實米の買煽りを事とする以上到底借換資金の貸出しを承諾せざるべく又債權各銀行並に某會社は最近白南信に對し買占米の放賣並に買占行爲の中止を嚴重警告したる由に付各種の關係は同人の買占行爲を中絕せしむべき模樣なりと

◎地方景氣好良

米價未曾有の昂騰狀態を呈せるに拘らず地方鮮人階級の生活難は存外甚だしからざる模樣なるが農產品の昂騰と勞働賃金の騰貴は相俟つて地方景氣の好良著しきものあり鮮人日用品の如き以前は優等品の多くは市街地に於て需要ありしも近頃は市街地より地方に於て優良品需要增加の傾向あり米高の如き多くを意とするものなき狀態にある如く從つて米の消費の如きは著しく增加するに非ずやとも唱へられ居れり

◎紙卷煙草缺乏
滿洲方面に於ける

最近奉天商業會議所の報ずる所によれば沿線各地卷煙草は朝日の缺乏著しく今や朝日一箇十錢を稱ふる小賣店あり敷島又は十三錢さへなるに至り兩切にてはヘルメットの北滿賣行殊に盛んにして五箇十錢の小口まで

▲市中の賣店 を巡りて 買收し居るものあり窮に騰貴の勢を示し居れるが之が原因に就きて聞く所に依れば原料葉の不足と製造能力が需要に對して著しく不足なるによるもの、如く而して東亞煙草會社にては大體の小賣値を定め居れるも專賣法の適用無きことゝて强制する譯に行かず需要供給の關係は著明に昨今の高値を現はし來れり其影響として英米トラスト製品が之に取りて代るの觀あるも之にて

▲原料不足の爲 め左程大なる影響を與ふべしとも思はれず然のみならず煙草原料葉の缺乏は殆んど世界的現象にして米國さへ山東及び吉林葉を輸入する程なれば上級品は更に角販品朝日級の品物及び下級品兩切品の潤澤は到底近き將來に於て望むこと能はざるべしと觀測され居れり

◎銀價と輸入貿易

奉天商業會議所の調査によれば昨年今の貿易は依然たる銀高に拘らず輸入旺盛を極め奉天の支那商等も直接又は奉天大連等に於ける日本貿易商を經て日本雜貨の輸入を計る者多く昨年中は一時競爭盛況を呈したる模樣なりしも講和の希望確實となるや先づ支那商等は銀相場の先安を察し輸入貿易に深き警戒を加へつゝあるもの、如し然し戰亂の爲めに暴騰せる銀塊が講和の成立と同時に其の先安の望ぜらる、は當然なるが今後來たるべき銀相場の變動にして急轉直下經濟界に二大波瀾を捲き起す等のことなきか或ひは漸落して能く市場の協調を維持し得可きかは是れ素より豫想しがたき所にして從つて本邦斯業者等も今より多少の注意を要せずと言ふ可からざるものに似たりと

◎過激派の情勢
依然物資缺乏

參謀本部附步兵大尉小林茂諦氏は朝鮮經由歸東せるが下關驛にて語つて曰く『余は昨年三月以來哈爾賓に赴き

▲過激派の情況 を調査し第七師團の出動後は通譯隊の武官として第七師團に從ひ十二月オムスクに進みたるが當時オムスク方面には西伯利兵の歐洲戰爭に參加して獨逸國に俘虜として監禁せられ居たるもの續々歸來し數萬に達したるが彼等は旅費なくして放還せられたるものなれば零下四十度の酷寒地方を徒步にて橫斷し衣食に窮し飢に瀕せる結果掠奪を行ひオムスクの過激派と結託し種々の陰謀を企てたるがチェック及び聯合軍の

▲嚴重なる監視 により事を擧ぐる能はず僅に二回騷擾を引起したるのみにて鎭靜し目下平穩となり居れり歐露方面にては烏拉爾戰線に於て過激派と對抗中なるチェック及び西伯利兵は十二個師團の多數あるも武備充實せずして聯合軍としては佛國兵一個大隊英國兵二個中隊參加し英國兵の如きは精銳の武器を携帶せるも其數僅少にして英佛兵は殆んど戰線に立つ事なき有樣にして新武器を充分に具へたる過激派の壓迫を受けて不利の狀態にありオムスク市は人口六千位に過ぎざりしも近來避難民の

▲諸方より來集 する爲め頓に激增して六萬の多數に達せり而して物資の缺乏は依然として蠟燭の如きはパラピン質多き粗惡品のみにて點火すれば直ちに溶解す、マッチ一個百留にて賣買さると云ふ事珍らしからず繪葉書を購求せんと市中を探せるに千九百八年製の古く黑染し物を僅に買ひ得たる有樣にして各種物資の缺乏其極に達せり而して同市民は日本軍の西進して秩序回復せん事を熱望し居れり本月五日歸途哈爾賓に於てセミヨノフと會見せるが先に爆彈を受けて大いに輕快となれば近日北部の穩定なる由語れりと

◎美濃部總裁發期

朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は十二日午後七時五十分南大門驛發列車にて下關經由東上する事となりしが十三日夜下關着十四十五兩日の下關支店開設披露宴に臨み十七日までに着京の豫定なりと

◎片山鮮銀理事歸城

朝鮮銀行理事片山繁雄氏は十日午後九時十分南大門驛著列車にて歸城すべし

人事消息

▲高石政次郎氏（總督府技師）勸業模範場西鮮支場地選定の爲十日附を以て平北管內へ出張を命ぜらる

▲岩井長雄氏（同上）朝鮮窒素合名會社發電所に係る鑑定用務の爲十日附を以て平北博川郡保安面及定州に出張を命ぜらる

▲橋本貞夫氏（南滿洲鐵道會社參事）歐米視察旅行の途九日夜京城通過內地へ向へり

▲麻生音波氏（演藝家）九日夜歸城

▲小山庄三氏（鈴木京城支店長）同上

▲笠原寬美氏（三井店長代理）今回本社詰となり來る廿三日頃出發東上の由

▲片山繁雄氏（鮮銀理事）十日朝釜山上陸北行（釜山特電）

八面鋒

◆支那に對する我當局の警告は誤解を醸み暗鬼を生ぜしめ、此間事あれかしと待ち構へ居たる、外國新聞記者中には、忽ち誤報を以て事件を發生せしめ紛擾を生ぜしめんとし。支那新聞は一層之れを誇張し、無意味なる排日言論を煽り更に又平生より誇張を好む南方派をして、終に論爭の具に供せしむ。日支親善は兩國の國是たらざる可からざるに、往々無責任にして、野心ある者の爲に、弄ばれんとするは遺憾也。

◆北京にて發行する、比較的信用を有すと稱せらるゝ、支那紙京報は、親善と秘密と題し、全文三號活字にて、堂々たる論文を載せたり、流石は口頭より先に生れたる先生方の執筆にて、立派なるもの也。其の要は、世界輿論の一致する處は、從來締結せられたる、秘密條約や、或は協約は、此機會に乘じて公開し、皆修正せよと云ふにありと。隨分大きく出でたる最後に。日本の外交家は鼠目寸光なりと云ふ、洵に恐縮千萬也。支那の外交家は鬼目丈光とでも申すべきか、流石は講和會議中に於ける、支那委員の態度は、列國環視中に於て頗る立派なる者也。

◆同紙は國家と國家に、若干の秘密あれば、親善と謂ふべきにあらず。秘密ありて親善と云ふが如きは、是れ下等社會男女の戀愛のみ。豈に國家の有すべき態度ならんやと云ふ。此の論法を以て進めば、英も米も佛も伊も、皆之れ下等社會男女の戀愛のみか、大迷論たるを失はず。

◆明十一日は紀元節也、歲月指を屈するに際なく既に我憲法發布よりも三十年を經たり。吾人は滿腔の歡喜と共に、遙かに我憲法を齎めるに、明治維新の大精神を追懷して自由、平等、博愛の世界大勢に順應すべき、我大日本帝國主義の徹底を覺悟せざるべからず。

◆明治維新の大精神は、民の心を以て君の心と爲し給ふ、君民同治の理想は世界通有の政治樣式に醇化せられたる、立憲政治根本義の適立也。萬古不易の政治理想を標高せられたる、立憲政治根本義の欽定也。國民生活の安定を指示せられたる立憲政治根本義の讚美也。吾人は此の憲法發布三十年記念日を迎ふるに當り、滿腔の赤誠を以て當日を祝福せんとする者也。

會員募集

事業主にも職工にも必讀の講義錄　講師東京高等工業學校教官

機械講義　機械學、發動機、喞筒、機關、製圖其他機械工に必要の事柄を懇切に說述す鑛山製造船舶鐵道等の從業者に必讀

建築講義　和洋家屋構造、規矩法、意匠裝飾、製圖より材料及び構造强弱等建築の要項を平易に說明せり大工職業者に必讀也

電氣工學　遞信省主任技術者受驗科目を網羅し最新の研究を平易に講述せり電氣業者に必讀の參考書なり

應用化學　有機、無機、製造工業、分析化學、電氣化學、化學機械、工業常識其他すべて時勢の要求に應じたる最新の講義也

希望者の見本を見よ！

東京小石川表町（振替東京六一八〇）　大日本工業學會

手形無効廣告

一手形種類　送金爲替手形
一番號　第三二號
一振出年月日　大正八年一月四日
一金額　四十八圓八錢
一受取人　馬場運送店
一依賴人　共同組運送店
一支拂銀行　株式會社朝鮮商業銀行釜山支店
一振出銀行　株式會社朝鮮殖產銀行金泉支店

右紛失ノ旨屆出有之候ニ付テハ今後發見候トモ無効ニ付此段廣告候也

大正八年二月八日　株式會社朝鮮殖產銀行金泉支店

職工募集

一鑄造工　五十名
一旋盤工　三十名
一仕上工　三十名

右內鮮人職工募集ス希望者ハ至急履歷書提出スベシ試驗ノ上採用ス

平壤　中村組

謹告

私儀今般稻垣合名會社ヲ辭シ三龍社ヲ專念經營致スコトニ相成候間倍舊ノ御引立ニ預リ度右御挨拶申上候敬白

京城本町二丁目百十番地　木庭栖雄

質　新規開業　倉庫完全

京城若草町（金井眼科醫院裏）三十八番地　池上病院前　麻生質店

精米麥機

運轉安樂精白迅速信用ある方最明月賦貸附す賣物御試驗を乞ふ

○詳細圖入說明書は申込次第送呈　製造元大阪西區市岡町東　雅物產社

▲朝鮮名物▼　**金剛飴**　京城本町　電話二七四七五番　龜屋

大正七年下半期 第二十五期決算公告

貸借對照表

資產之部	
未拂込資本金	三二五、〇〇〇・〇〇
貸出金	一、三八四、〇五七・七〇
他店へ貸	一五、六一六・〇七
本支店間未達勘定	三四、七三六・〇五
有價證券	一二、八〇〇・〇〇
營業用地所建物	六三、三九七・〇〇
營業用什器	三、二〇〇・〇〇
抵當流込物件	一六、〇五〇・〇〇
預ケ金	二六、四六〇・四七
現金及金銀有高	五四九、四九五・一〇
合計	三、二二七、九三二・四〇

負債之部	
資本金	五〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	二一〇、〇〇〇・〇〇
諸預金	一、七五一、四五九・三一
支拂送金爲替手形	六八、一〇五・〇〇
借入金	三八、一一七・三〇
他店ヨリ借	三三、五七〇・七〇
當期利益金	四二、九六八・二八
合計	三、二二七、九三二・四〇

利益金處分	
當期利益金	三一、七五八・三三
前期繰越金	一一、二〇五・〇〇
此處分左ノ如シ	
諸積立金	四二、九六二・八五
配當金（年七分）	一八、五〇〇・〇〇
役員賞與金	一一、六六六・六七
後期繰越金	二、五〇〇・〇〇

右之通ニ候也

大正八年一月　株式會社韓一銀行

頭取　子爵　閔泳徽
專務取締役　金漢奎
取締役　子爵　李容稙
取締役　嚴柱益
監査役　高允默
監査役　崔鎭

前記ノ各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證候也

聖躬彌々御健かに 憲法記念館行幸

紀元節の御祭儀の後 御通常服を召されて

十一日紀元節には聖上陛下親しく皇族文武大官を隨へて皇靈殿に出御の上嚴かなる御祭儀を行はせらる、筈にて多分前日午前中葉山より東京へ還幸あらせられ皇后陛下には同地に御留まりあるべく今明中には何分の仰せ出であらせらる、御事ならんと拜察せらる當日皇靈殿の御親祭後正午より蘭國大使クルペンスキー氏以下各國大公使原首相以下の國務大臣大勳位親任官より在京文武勅任待遇の人々までを召され饗宴を賜ひ

優渥なる勅語を賜はり

之に對して原首相は群臣に代り蘭國大使クルペンスキー氏は外交團を代表して奉答の辭を捧讀申上げ夕刻よりは伯子男爵に賜饌ある爲式部職員は何かと準備に忙殺され居るが今年は貴衆兩院主催の下に憲法發布三十年記念祝典を青山恩賜記念館に於て擧行すべきに付聖上陛下にも兩院議員の赤誠を御嘉納遊ばされ同日午後二時半御出門左の御道筋にて同祝賀會場に臨御の旨七日仰出だされたり 陛下には御通常服に御佩勳、波多野宮相以下を隨へ式外兩海にて行幸遊ばされ兩院の賀表を受けさせられ十二日再び葉山に行幸あらせらる、御事と拜察す

内外政務を叡はせられ

陛下には聖躬彌々御健康に渡らせられ毎日午後は程近き舊岩倉家別邸より伺候さる、澄宮殿下を御膝近う召させられてまたなく御機嫌麗しく過ごさせらる、やに拜承す

▲行幸御道筋 宮城正門より右へ櫻田門を出で司法省前通右へ霞ケ關を上り永田町通赤坂見附跡を下り表町通青山御所に沿ひ右へ陸軍大學校に沿ひ左へ右へ會場へ

▲還幸御道筋 會場より右へ信濃町橋を渡り左門町沿町十六番地角右へ傳馬町通四谷見附橋を渡り麴町半藏門(八日東京發信)

李太王物語

(四)

李太王殿下薨去以來既に一旬、その間あらゆる人とあらゆる機會が傳へた御逸話は決して尠くないが、何しろ故殿下の御一生は波瀾の歴史、數奇な御境遇であつただけに、猶隱れたる御逸話、隱れたる御高徳さも見ろべきものが尠くない、國葬を目睫の間に控へて哀悼の涙更に新たならんとする折柄、これを傳へて在りし御面影を偲びまつる、これも追慕の一端であらう。

□巧みなる御諧謔 前獨皇弟凹まさる

『この王宮には何うして來られたか』『騎馬で參りました』『ナニ馬で……朕は態々卿の爲に四人曳きの駕を迎へに出した筈ぢやが……』『否、それは確かに見受けましたが御好意は厚く感謝いたしますが、然し人が人に乘るのも如何かと思ひまして實は……』『ハッハ……それは要らぬ御遠慮と申すもの、その筆法で行くとカイゼルの黄禍論も意義を爲さぬことになると思ふが何うぢや』是は今から卅年も前

元の獨逸皇弟

ヘンリーが多大の野心を抱いて朝鮮を訪問した時の問答である、何しろ鐵道がなかつた時代なのでヘンリーは元山まで軍艦で來て元山から山越に川越に京城に這入つて來たのである、是れより先ヘンリーは韓國政府に對し特に道路を改修して貰ひ度いと云ふことを申込んだことや、らで李太王殿下は些か感情を害して居られたのであるが、愈京城に著いて見ると彼は折角の好意を無にしたのみならず獨逸人一流の傲慢な態度を以て接したので李太王殿下は益

小癪に障られ

憎々カイゼルの『黄禍論』を持ち出して皮肉られたのである、ところがこの藥は餘程利き目があつたと見えて流石のヘンリーも王城を退出する時には、タッタ今『人が人に乘るのも如何かと思ひまして』と嫌に遠慮したその駕に乘つて悄然と引き取つたと云ふから面白い、然し李太王殿下は徒らに人に氣拙い思ひをさせて置く人ではなかつた、ヘンリーは當時獨逸公使館を假りの宿と定めて居たが殿下は其夜密かに官妓二人を撰抜してその公使館に送られた、官妓は

何方も楊貴妃

のやうな美人であつた、ヘンリーは貴き身分も忘れ滿悦の笑を漏らしつゝ花のやうな美人を左右に侍らして遣る瀬ない旅愁を慰めた、恐らくこの一夜彼は骨肉をも忘れ國家をも忘れて居たであらう、ところが公使はヘンリーが斯した特殊の歡待に關喜したと云ふことは指先から先も知らなかつた、それでその翌日王城に參向、係の役人に對して特に國王の御名に於て歡迎會をお催し下さるやうと極めて

蟲の好い要求

をした、係りの役人は笑止さを忍びながら『實は夜前特殊の御歡待を申上ました』と一件殘らず打ち明けたところ、公使も非常に驚いたらしく『イヤ是れは〜』と頭掻き〜退出したと云ふことである、李太王殿下の御面目が躍動して居るやうで興味があるではない乎。

○紀元節

▲府廳拜賀式 京城府にては十一日紀元節當日御眞影拜賀式を擧行すべく府民一般に對しては同日午前九時三十分より同十時三十分迄の間に於て隨意拜賀を許可すること、せり但服裝はフロックコート若くは紋付羽織袴こし朝鮮人に在りては相當敬意を缺かざる服裝にて差支なしと

▲京城神社 京城神社にては午前十時より紀元節祭を奉仕する由にて當日早旦神殿其他を裝飾し定刻齋主以下祭員伶人氏子總代等著床修祓の上齋主昇殿祭神御開扉奏樂裡に神饌を獻供し齋主の祝詞奏上玉串奉獻の儀ありて再び奏樂裡に撤饌式を終る筈なりと

○議長は大臣の次位

憲法發布記念に改めらる、 貴衆兩院議員の宮中席次

憲法發布三十年記念として貴衆兩院正副議長以下各議員の宮中に於ける待遇を向上せしむべく衆議院側より運動中なりしことは既報の如くなるが此事に關しては政府も大に賛意を表し居れるのみならず

◆宮内省側 にても別に異議を有せず殊に貴族院側の如きは其の實現の遲かりしを遺憾とし居れる程なれば結局近々に實現せらる、こととなるべし而して右待遇の程度に就き聞く所によれば現在親任官の次位に在る兩院議長を國務大臣禮遇の次位に高等官一等の次位に在る兩院副議長を樞密顧問官の次位に高等官三等の上位にある一般

◆兩院議員 を高等官一二等の中間に進むべく之が程度に就ても既に政府側との間に諒解まり居れる模樣なれば結局右様の事となるべし唯其時期に就ては成るべく記念期日に間に合はしたき希望なるも樞密院の諮詢を經ざれば改正されざるを以て或は幾分遲延すべきやも知れずと

○最新設備の潜水艇

呉にて工事中 四月上旬進水

呉工廠造船部にて工事中の八百噸の大型潜水艇二十一、二十二號艇は四月上旬に進水の豫定なるが同潜水艇には捕獲潜水艇の經驗を待ちて彼の從來列強に秘密させる優秀の點を參酌し尚我が實驗こに依り從來と異なり無線通信水中信號の新設備の外從來我潜航艇に類例なかりし武裝を施す事となりたり又艤裝中の千九百二十號大潜航艇は四月迄には就役するに至らんと

○戰死者

及び病死者

昨年八月七日より十二月十六日に至る間に於て浦鹽派遣軍に屬し戰死又は病死したる下士卒九十六名は左の如く七日官報を以て公表せられたるが内小倉衛戍病院看護卒一名歩兵第四十七聯隊補充大隊二等卒一名は自殺せりと

▲歩兵中尉鈴木彼新▲歩兵伍長一名▲砲兵伍長一名▲工兵伍長一名▲輜重兵伍長一名▲歩兵上等兵十二名▲同一等卒十六名▲同二等卒十一名▲騎兵上等兵一名▲同一等卒二名▲二等卒一名▲砲兵上等兵三名▲同一等卒一名▲一等看護卒二名▲二等看護卒二名▲輜重輸卒三十九名▲陸軍代用馬卒一名

○伊藤公は一旦歸東

伊藤博邦公一行は十二日頃京城出發一旦歸東の上再び來城の筈なり

○三功勞者表彰狀

綠綬褒章及び監綬褒章を授けられたる光榮の人、釜山の福田增兵衛、大池忠助、木浦の高根信禮三氏の略歷は既報の如くなるが更に綬章と共に傳達せらるべき表彰の全文を掲ぐれば如左

長崎縣下縣郡嚴原町 福田增兵衛

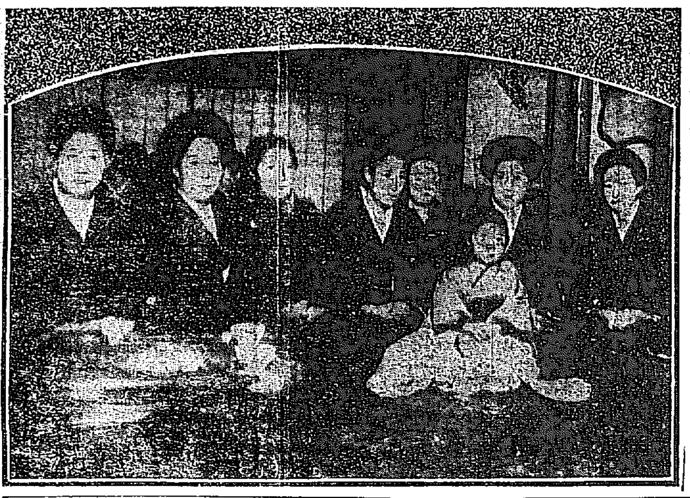
資性朴直明治六年朝鮮に渡航して居を釜山に相し貿易及び海運業を營む當時濟州島に産する牛皮天草海苔の製法粗惡にして輸出に適せざるを見るや鋭意之が改善を圖り又内地より粳種を移入して鮮人に配付し施肥耕作の方法を教示し或は良種の普及に努め或は朝鮮產原料を以て清酒及醬油の釀造を始め佳品を出して販路を朝鮮全道に擴め以て斯業の勃興を促し其他商業會議所の設立又は日鮮人の同化に盡力したる等洵に實業に精勵し衆民の模範たるものとす依て明治十四年十二月七日勅定の綠綬褒章を賜ひ其善行を表彰せらる

茨城縣士族 高根信禮

資性溫厚夙に朝鮮に渡航し明治卅二年木浦日本居留民會々長に擧げられ尋で木浦居留民團民長と爲り其職に在るや教育の普及惡疫の防遏に致し殊に上水道の敷設に盡瘁して優良なる飲料水を供給し其他陸地棉の栽培を奬勵し或は率先植樹を企圖して造林思想の養成に力め又は商業會議所及び商品陳列所を設置して商工業の發展を圖る等洵に公衆の利益を興し成績著明なりとす依て明治十四年十二月七日勅定の綠綬褒章を賜ひ其善行を表彰せらる

勳六等 大池忠助

資性溫厚明治八年朝鮮に渡航し夙に釜山港の開發に心を注ぎ各種の會社を設立して重役又は社長と爲り或は穀物輸出商組合長海產物商組合長穀物市場取締役等に擧げられ一意產業の振興を圖り又米穀檢查規則の發布せらる、や率先米穀商組合を組織し米種の改良を計り其他商業會議所會頭釜山居留民團民會議長及び同民長に選まれて其職に盡す等洵に公衆の利益を興し成績著明なりとす依て明治十四年十二月七日勅定の綠綬褒章を賜ひ其善行を表彰せらる



◇奥村女史十三回忌 七日午後二時より淺草本願寺に於て朝鮮と最も關係の深い故奥村五百子刀自の十三回忌が行はれた愛國婦人會からは長理事以下多數出席し故刀自の追懷談に耽つてゐたが遺族としては長女奥村[illegible]子女史が出席し之から京城へ出て鮮人の幼兒を集め模範的幼稚園を設立するのだと活潑に語つてゐた(寫眞向つて右より趙重應夫人、同若夫人、[illegible]子、[illegible]夫人、奥村[illegible]子、山脇房子、鳩山春子)

○ケシで一儲

せんと鮮人の飛躍

過般總督府で阿片の原料たる罌粟の栽培を許可する事となつた由來機敏な咸興鮮人間には早くも之れに着目して權利を得んと運動中のものもある中には運動の爲め上京し一方何んにも知らぬ農民に今度から畑に他の種子の植付けを見合して待つて居れ之れが許可を得れば共同栽培を爲さんなど、甘い事を云うて農民の射倖心を煽るものがある農民に於ても之れを眞に受け既に播種期に切迫して居るにも不拘安閑として施肥もなさず播種もせず畑を遊ばして待つて居るものもある由困つたものである(清津)

○今朝の雪景色

旗日は晴大か

九日の午後遼東の南に局地的の小低氣壓が現はれたので次第に鬱陶しい天氣になつて京城では夜十一時五分から雪が降り出し午前に及んだが積つた量は七八分に過ぎなかつた併し氣溫は大して寒くなく十日午前六時の溫度が零下七度七分であつて例年より一度許り温であつた、前記の低氣壓は間もなく消滅して十日は頭上に一點の雲翳もない樣な快晴に復したが大陸には猶ほ低氣壓が占めて居るから十一日の祭日は一寸曇の快晴であらうとの事である因に九日夜の降雪は京仁西鮮全州群山清州地方一帶に亘て少量の雪が降つた樣である

○火藥爆發して

二名即死を遂ぐ 慘狀目も當てられず

九日午後十時十分頃市内府洞五十四番地子爵楠重鬮氏邸内閔載高方の溫突に置きありし火藥一大音響と共に突如爆發し折柄客室にて交談中なりし閔載高(五〇)及び[illegible]兩名が見るも無慘の即死を遂げたる椿事あり閔載高は大韓國政府時代の

▲鑛山局長 にて其後鑛山事業に交涉を持ち居たる關係上常に多量の火藥類を藏置し居り當夜は知人の李漢榮なる者も訪ずる旨二日前通知あり寒氣和らかなりし爲め溫突を強く焚きたる樣なりしと云へば溫突の暖氣強くなるに從ひ

▲自然爆發 せるに非ざるかと傳へらる一說によれば知人李漢榮は當夜十時頃閔載高方を訪づれ兩名は入れ替りに入り來りて爆發の瑕がたる客室に於て約五分間交涉中なりしは確實にして爆發の瞬時に就き[illegible]の事とて附近は忽ち見物人の山を築き

▲大混雜を 呈したるが急報に接するや京城憲兵分隊鍾路警察署京城憲兵隊よりは多數の警官憲兵等移さず出張し人夫を督勵して屍體の掘出しをなすと共に倒壞家屋の取除きに從事したるが掘出されたる二個の屍體は全身粉碎され目も當てられぬ慘狀を呈し居たり尚ほ爆死せる閔載高の家庭には妻李姓女と七歳と十五歳の娘二人あり此椿事に遭遇して

▲恰も失神 の狀態にてわい〜と泣く樣見るも氣の毒なりし尚ほ爆發と同時に楠重鬮氏邸宅は稍傾斜し窓其類は何れも破損し瓦壁土等數間の彼方に飛散し隣家の障子は震動の爲め何れも多少の破損を蒙りたり

○白米天井知らず

九日から升四十四錢

市内小賣米値段は九日午後又々値上げし一等米四十四錢二等米四十三錢五厘となり是れにて昨年夏の米價より高き事一錢五厘に及びたるが市内の卸値段又小賣値段と同値なる爲め小賣り商は到底立ち行かずとあつて近々更に値上を實行すべく相談中なり此分にては終に五十錢に達するやも知れずと

○ライオンキヤラメル 京城水標町藤永商店發賣のライオンキヤラメルは數年間苦心研究の結果砂糖水飴ミルク人參エキス其他數種の滋養品を加へ芳香を加味して精製したるものなれば最近頗る評判よく賣行き盛なりと

○森病院長厳父の訃 京城明治町森病院長森[illegible]吉氏厳父小三郎氏病氣療養中の處去る二月八日午後八時三十分逝去せり

○九死に一生を

全南麗水港愛知縣漁村鈴木龜三郎所有船西洋型帆船(漁船十一噸)は漁夫鈴木龜三郎、倉内市太郎、鄭應七、梁行式の四名乘込み巨文島東北約十三哩附近にて漁業從事中一月二十四日二時頃降雨烈しく方向識別し難く附近の島に突き當り船體の一部破壞し乘込員四名中倉内市太郎は行方不明となり他の三名は辛うじて岩島に上りしも同島は草木なく全く岩石より成る無人島なる故糧食もなく絶食九死の狀態なりしが愛知縣漁業組合より出したる發動機船山利納丸に救助されたり

○壽座の初午祭

十一日は初午に相當するので市內壽座では午前十一時から午後三時まで盛大な稻荷祭を執行する事となつた、餘興として芝居、手品、浪花節を演ずる外場內には模擬店を設けて參詣者に御馳走するさうである

○蓬萊町の火事

九日夜七時五十分頃市内蓬萊町四丁目二百二番地無職酒江光藏方より發火し一棟九間(損害約二百圓)を燒きたる七同八時廿分鎭火せり

○五戶燒失す

桂洞出火餘聞

九日午後五時四十分市內桂洞百四十六番地なる市內塵芥及び糞尿汲取所京城衛生實行部に火災ありし事は既報の如くなるが其後聞く處によれば發火の場所は同部內の人夫宮川德太方にして急報に接し鍾路署長以下署員市內各消防組等馳け付け鎭火に努めたるも終に棟續きの朝鮮長屋五戶三十九間を燒き同七時頃漸く鎭火したるが發火の原因は宮川が竈に火を焚き付け其儘用達に出懸けたる不在中附近に積みありし炭俵に火が燃移りし爲なりと損害約千五百圓なり

○北日本の積雪

奥羽信越の積雪は五六尺に達したる處ありと

慘憺たる火藥爆發の跡(十日午前撮影)

○哈爾賓駐屯軍に疑獄事件起る

領事館憲兵隊の活動 商人軍屬等拘引さる

哈爾賓駐屯我が○○○○分隊と同地日本商人間に於ける贈收賄事件發覺し同地領事館警察は大活動を開始したるが其結果去月三十日四名の日本商人と數名の軍屬下士等哈爾賓憲兵隊に收監せられたり(東京特電)

二月十二日(水曜日 舊一月十二日)

五黄 念に念を入るべき日なり 木曲 願の筋込が如き出行の日
二黒 嬉しき賑やかなる日なり
三碧 默つて暮すに和ある日也
四緑 さんちんかんに終る日也
八白 華美なる賑かなる日なり
九紫 惜しきことのある日なり
一白 盛運の日也起業移轉棟上婚禮旅行其他何に用ゐても萬事吉

○面事務所の出火 平安南道龍岡郡龍岡面事務所は四日出火し半燒にて鎭火したるが原因損害高等取調べ中

○大倉組輕鐵廢止 大倉組にて鑛業經營のため京義線孟中里驛より平安北道博川郡德安面東四里に至る間に專用輕便鐵道四哩四分[illegible]自動車は七日より全通支障無きに至れりと

○財產家の美擧 [illegible]

○連絡船上陸客 九日午前入港新羅丸一二等客 一等(六名)小山庄三、堀内芳之、原田[illegible] 二等(百廿七名)[illegible] 三等(二百五十四名)

天氣(京城地方) 晴れ

演藝案內

有樂館 京城本町 活動寫眞常設館 ユニヴァサル會社特約 △米國ユニヴァサル會社作品 滑稽 偶然の結婚 全一巻 △米國ユニヴァサル會社特作品 人情劇 磯打つ浪 全五巻 △米國ユニヴァサル會社特作品 大活劇 幽靈船 △新派悲劇 森の朝 全五巻

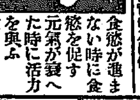
浪花館 京城明治町 電話二六〇 二月十一日より 大阪女義太夫 二代目廣澤虎丸、廣澤菊嬢一行 太夫 廣澤虎丸 太夫 京山[illegible] 太夫 京山[illegible] 太夫 廣澤[illegible] 女太夫 京[illegible] 女座長 廣澤[illegible] 午後六時開演

黄金館 電話(晝間)一二六六(夜間)一二六七 △天活會社獨特の新派大撮影 蒲生三勇士 全五巻 △米國ミ北作連續冒險大活劇 鐵道王の娘 全四巻 △新派悲劇 蚊やり火 全四巻

大正館 櫻井町 電話八七三 △活劇 懷劍 全三巻 △米國トライアングル會社作 大活劇 救命機 全二巻 △舊劇 矢口の渡し 全三巻 △悲劇 乳姉妹 全六巻

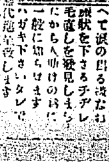
文樂座 本町五丁目 電話一三二八 浪花節 中村福高一行 前 佐倉宗吾 切 三十三所壺阪靈現記

壽座 京城本町 電話五七八 大阪歌舞伎中村玉六嵐信藏一座 前 里見八犬傳 通し 切 扇屋熊谷 五條橋迄



日本及歐米十三ケ國專賣特許 胃腸最新藥 ヂゲヌスチン
食慾が進まない時に食慾を促す 元氣が衰へた時に活力を與ふ 貧血のものには血液を補給す 精力の增進と體量の增加を促す 現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる 說明書進呈 東京本町 藥種問屋 圓城商店

細吹 廉價販賣 全北沃溝產細吹 群山府九番通 森田商店 電話三三七 振替京城二一四五

ちゞれ毛

東京淺草山の宿町十一丁目[illegible]

父小三郎儀病氣ノ處療養不相叶本日午後八時三十分死去致候間此段御知らせ申上候 追て葬儀は來る十二日午後四時自宅出棺南山本願寺に於て執行候 大正八年二月八日 京城明治町二丁目 男 森武定吉 安田ひな 芹東小八 安野進 見村藏 中再造 親族總代 秋吉富太郎 友人總代 [illegible]

病氣ノ處療養不相叶本日午後四時十分死去致候間生前の知遇を謝し諸賢に謹告仕候 追て葬儀は來る十二日午後二時長谷川町於て執行仕候 京城古市町十九番地 高橋慶太郎 親族總代 三好和三郎 友人 渡邊暢 總代 丹羽清次郎

刑妻ハマ儀 病氣ノ處療養不相叶本日午後四時十分死去致候

姉ひで儀 病氣ノ處療養不相叶本日午後四時死去仕候間此段辱知諸君に謹告候也 追て葬儀は明十一日午後四時寺町妙覺寺に於て營み申候 二月十日 弟 鶴田秀穗 同 鶴田鐵三郎 友人 萩谷篤夫 和田齊二郎 親族 森戶平吉 代 中雄禎二

▲八白▲……の日なり…… ▲九紫▲主客和合の日なり祝事吉 ▲一白▲物ごと思ふ樣に行かぬ日
▲六白▲知らん顔で暮すに利あり ▲七赤▲親しみのある賑かな日也
▲三碧▲……のある日也 ▲四緑▲物事おだやかに終る日也 ▲五黄▲物事親和を意味する日也

……み世界は中々の好評にて毎夜大入

○咸永自動車開通 ……雪以來一時運轉杜絶せる咸興永興……去月十八日降……

……は昨年末も此擧に出たる篤志の行……二戸白米二升五合宛を施與せり氏……

○朝鮮統治の狀況(十六)

大正七年に於ける諸般施設

土木(二)

第一期事業は明治四十四年度以來大正六年度に亘る繼續事業にして其の總工費一千萬圓、改修道路四十四線延長六百八十五里を大正六年十月漢江橋の竣功と共に全部完成を告げたり。本工事の完成に依り舊韓國政府時代の改修及び國庫補助に依る地方費改修道路を加へ既成改修道路の總延長一千二百九十里に達せりと雖も、朝鮮全土に於て計畫せる一、二等道路の總延長は三千百二十里餘なるを以て、尚未改修部分の延長は千八百三十里餘なりとす。之を以て更に主要路線二十五線を選み第二期治道工事を起し、總工費七百五十萬圓、延長四百七十七里を改修するの豫定を以て大正六年より同十一年迄六箇年繼續事業として着手し、現在工事中にあるもの十三路線、延長五十五里餘にして其の中約五里を竣功したり

◆改修 大正七年度地方土木費改修延長一、二等道路合計二十二里餘にして、總工費千九萬七千餘圓の内國庫補助十萬圓を與へ、目下約五歩の出來形を示せり。又既成一、二等道路の維持修繕は大正五年度より地方費事業に移し之を施行せしめつゝありて、大正七年に於ては總工費二十四萬一千餘圓に對し國庫より二十萬圓の補助を與へ夫々所轄道廳に於て施行す

正七年度豫算額三十二萬七千百圓にして永樂町一丁目、敦化門通、黄金町、敦化門前、鐘路松峴洞間の改修其他竹添町鐵道踏切り接續工事なりとす

◆港灣修築 港灣修築工事は明治四十四年度以降釜山、仁川、鎭南浦、平壤、元山の五港に對する繼續事業とし、總工費千二百三十五萬二千餘圓を以て施行中の處、平壤、鎭南浦二港は大正三年度迄に豫定計畫の工事全部を竣功し、釜山築港は大正六年度を以て竣功したり

◆仁川 仁川築港工事は總工費五百六十六萬餘圓にして、主要設備たる閘船渠は大正七年十月を以て完成を告げ、爾餘の工事は大正九年度を以て全部竣成せしむべく進捗中に在り

◆元山 元山築港工事は總工費百五十六萬圓にして、大正四年度より着手し、現在總出來高六歩五厘なり。即ち埋立工事は前年度に引續き甲種物揚場の一部と共に施行中なり

◆浚渫 浚渫工事は浚渫船金剛丸を以て前年度浚渫區域に隣接せる甲浚渫區域七萬六千七百五十坪の内三萬八千餘坪を浚渫し、繫船岸壁約八歩を竣成せり

◆防波堤 防波堤築造工事は乙種防波堤六十五間を竣工し、甲種堤波防百五十五間に對しては約六歩通りを竣成せり

◆維持 港津維持及び設備として鎭南浦、群山、木浦の三港に對し浚渫費十萬圓を以て浚渫施行中なり。即ち鎭南浦港に於ては浚渫船江華丸を以て十萬三千七百餘坪の浚渫施行中にして内約六萬餘坪進捗し、木浦港は十萬六千九百餘坪、群山港は十四千餘坪の内約二千坪、何れも浚渫を了し、殘部は目下施行中なり

◆鎭海 鎭海市街經營の大正七年度豫算額は三萬圓にして道路、水路其他各々施行中なり

◆京城 京城市區改正工事は大……

○奉天に於ける朝鮮人會の内訌

◆領事の斡旋にて納まる◆

小西邊門外に事務所を設置し著々事務の進捗を計りつゝありしが其の後一部會員間に會長の排斥問題起り紛擾漸く大ならんとする形勢あるより赤塚總領事は會長副會長其他主なる委員數名を領事館に召集し協力一致して朝鮮人會の發達に努力すべく訓諭する處ありたれば一同其旨を體して引取りたり

○赤塚總領事(奉天) 赤塚總領事は近來健康兎角勝れざるの故を以て北京に於ける領事會議終了後療養の目的を以て歸國發すべしと

昨年末復活せる奉天の朝鮮人會は……

奉天の朝鮮人會

奉天の朝鮮人會は昨年七八月頃に何とかしたとかせぬとかから殆ど有耶無耶になつて居た處(奉天から電報)が來て同會が復活し……

★玄海の霧…豫報研究

關釜聯絡航路の障害と觀測所

◆關釜間の濃霧◆(一)

測候所長 平田德太郎

朝鮮近海に於て航海者の困難を感ずるは冬季に於ては風雪夏季に於ては霧なることは屢耳にすることろなるが殊に濃霧季節に於ては之が爲に海難を來たすこと尠しとせず今や關釜間の航路は世界的交通路の一部となり海陸連絡の設備完成し旅客の便宜備はれりと雖も往々連絡船の遲著又は缺航を來たし意外の故障を見ることあるは主として風波と濃霧に依ることが多し就中濃霧に關しては今日まで海上の模樣を審かにせざりしを以て

◇適確に豫知し得ざりし◇

は吾人の久しく遺憾とせるところなりき抑も關釜間の霧は朝鮮海峽に於ける濃霧帶の一部に過ぎずして全羅南道沖多島海附近は霧の最も頻繁なる區域なるが之より東方に至るに從つて大いに回數を減じ多島海附近は一箇年間の濃霧日數六十日以上を算するに對し關釜間は概ね其三分の一にして二十日内外なりされば同方面に於ける霧の狀態は

大體多島海附近に

於る狀況の調査に依り之を推察するに難からずと雖も事實務の豫報を發して航海者の參考に資せんとするには該航路に於ける實況を調査し殊に霧の發生する區域に關し正確なる資料を得るに非ざれば適切なる豫報を發すること能はず

切なる豫報を得し得ざるなり今回德山釜山測候所長が連絡船の航海日誌に依りて此の實況を稍明かにし得たるは豫報の實行上一段の進歩と云はざるを得ず德山氏の

◇調査の結果に依れば◇

關釜間の霧の發生の季節は四月より七月までなることは從來多島海其の他に就きて知られたる事實と合するところなるが霧の發生する區域は西水道に多くして東水道に少く殊に霧の最盛季なる六七月に於て此の傾向の顯著なるは注目すべきことなり霧の發生は理論上より云へば高溫にして多濕なる空氣の或作用に依りて冷却するか又は濕度を異にする

多濕なる空氣の

互に混淆を來たし其の結果高溫なる方は濕度下るかに至るか二種なる方は溫度下る爲に水分を凝結して霧を生ずるに至るかの二種なるべし海上に於て水面の溫度を異にする部分ありて一般風向の作用に依り高溫なる海上の空氣が

徐々低溫なる海上

に來たり冷却して霧を生ずる場合は前者に屬し低氣壓の進來等に際し暖海上の風と冷海上の風とが互に交會して混淆を來たし霧を生ぜしむるが如きは後者に屬すべし

○鷲口瘡と檢疫

移出牛の逆輸送

流行性鷲口瘡は近時朝鮮各地に猖獗を極め既に平南大同郡にも發生し平壤屠獸場に於て發見せしことは既報の如くなるが此が豫防の爲平南警務部及び平壤警察署に於ては極力其豫防に努め布さるゝや平南警務部にて平壤岸上警察署に於て……べき牛二十四頭の如き大邱驛より逆送を命ぜられ平壤驛に著する結果病牛の疑ひあるものを隔離し得ず平壤署は……ざりしも其儘隔離し尚ほ平壤署管内の如き飼牛者各戸に就て檢疫を施しつゝあるが未だ平壤府として發生せしものなしと

○鮮商の直移入

◆内地人卸商の大打撃◆

北鮮商業銀行は鮮人側商人が近來資金の合同を行ひ新なる取引先を阪神其の他各地方に開かんとするに對し是等の後援となり資金の融通を圖り成興經濟界の發展に資すべしといへるが從來鮮人側商人の移輸入品取引は主として在住内地商に依りしものを直接内地阪神地方に求めんとするの傾向は在住内地商に取りて由々しき打撃ならんと(成興)

○金融(大田)

漢城銀行大田支店に於ける一月中の業務成績を聞くに貸出總額四十六萬圓回收四十九萬圓預金受入六十九萬圓拂出額六十四萬圓なりと云ふ而して當月は舊正月にして閑散の季なるも鮮人側の年末に際し居れば預金貸出共に繁忙を極めたりと

○奸商の譏り受けたる

石油商を僞らざる告白

意外に儲かることは儲かるが

之れには深い事情がある

◇事實それに相違なし◇

石油の暴騰に對して石油の取次販賣をして居れる某地南鮮の商人は語つて曰く『實際石油の小賣商人が暴利を貪ると仰しやれば事實それに相違ないのでありますが、之れには餘儀なき事情もあるのでマアこう聽いて頂きたい』と前置をして扨て曰く『成る程以前は地方で石油を取次いでも儲かると云ふ所へは行きません、二罐入一箱を買つて漸く十錢の口錢になるかならなかつたのであります、それでは何で碌々引合もせぬ品を取次いであるかといふに

◇ソレは御素人方には◇

御判りになりますまいが、石油を取次ぐと資金の融通になつたからであります、元來地方の石油特約商人なるものは會社から責任丈の數量を引受けて之れを賣るのでありますから、最初に千函なら千函を引受けて會社の方へ後金で納めるのであります故に假令ば十函の石油は箱にすると五千百に當るので之れを一箱十圓で賣るとしても

◇五千圓の資金が融通◇

される譯ですから地方の商人は喜んで石油の取次販賣を引受けるのであります、所が此頃石油の値段が馬鹿な相場になつて、會社の指定値段は十二圓であります、御社の方で一箱の斷價にもつかぬ價段の値段は二十二圓にも賣つてゐるといふ事で、世間の御方はソンな事を聞くと如何にも石油商人が悪辣な手段を

◇附込んで暴利を貪る◇

樣に思はれますが之れには深い事情があるのであります。私は現に南鮮の某地で石油の取次をして居るもので、現在三百函許取扱つて居りまして販賣指定値段は十二圓でありますが、私共の所で一箱十七圓に賣つて居ます誠に此の春から春にかけては

石油商人の當り歳

で之まで高々十錢にもならない口錢の物が今日では指定値段の上に五圓も利益があるのですから石油商人は何處も有卦に入つた譯であります、所が何故高く賣らなければならぬかといふに例令ば私の居る店では正直に安く賣るとすれば、世間には隨分奸商があつて

◇審つその手を廻し◇

私の店の持品を買占めて了ふからであります、前にも申す通り石油特約商人には夫々責任數量が決まつて居りますから、其の引受數丈けの石油を買つて了へばモウ跡は幾ら頼んでも會社の方から送つて呉れぬので

餘儀なく何處でも

世間並に高く賣つてゐる譯ですが餘り儲け過ぎては何うも商買冥利に背きまぬ譯ですから、私は自分丈けの氣安めに何等かの機會に利用して一つ慈善事業にでも何程か寄附したいと思つて居ります

財界慘話

▲神戸の株で……株が戰爭の影響で……六十錢の……休戰に依つて飛んだもの……つたのは何と云つても今日のところ運賃の下落に底知らず……と云ふ夢にひたつた此影響を蒙つた者の十二圓五十錢排込株は正月に入つて五圓に下り最近更に三圓に迄落ち込んだ△其三圓に落ち込んだ株も未排込三十七圓五十錢を排込まればならぬ關係上買手が無いとは飽きたる話である

○煙草(慶尚)

慶尚南道本年の煙草作付反別左の如し(日本種)六五三反(收穫豫想)一一一二六(在來種)一七三九反(收穫豫想)三六三二〇貫

○松嶋神社(木浦)

木浦松島神社にては五日總代會を開き大正八年度豫算の件及び設立十週年祭舉行の件に付き協議會を開けり

○流行感冒の注意

東京市で發表した注意書

(一)室内は清潔に努め常に光線の射入を圖ること
(二)身體衣服を清潔にし且つ寢具等は時々日光に曝すこと
(三)衆人の集合する場所には成るべく立寄らざること若し已むを得ざる場合には呼吸器を使用し又は布片を以て口を掩ふこと
(四)外出先より歸宅したるときは時々溫水又は食鹽水等にて含嗽を行ふこと
(五)患者又は其疑ひあるものには成るべく接近せざること
(六)頭痛發熱等身體に異常あるときは速に醫師の治療を受くること
(七)本病患者は成るべく別室に隔離し接近せざること
(八)患者の咳汁、唾液及び之に汚染したる物件に患者の居室は醫師の指揮を受け消毒すること

◆兩性問題◆(一)

平壤 高橋鷹藏寄

『人』と云ふ字は『ノ』の劃が右より左に進み『へ』の劃が左より右に退く所で成り立つて居ると云うした文字の雅趣は横文字では見られない象形を主とした支那の文字では『人』の字や『ニン』とか『ジン』とか讀んでも耳に面白く響かないが其が『人』と云ふ字を眼で見ると直ちに『人とは何ぞや』と云ふ定義が解つて來る樣であり、又其天分も自ら合點せらるゝ心地がする即ち男の天分は上に在つて動的に生活し、或は戸外に於て活動するものであるに對し女は下に在りて靜的に振舞ひ或は家庭の隱れた所に勞して男の足らない所を補ふといふ天分を受けたものと思はる、少くとも支那では然うした見地から男女兩性の天分を理解して『人』という文字を造つたらしいと思はるゝ加之ならず人類の歷史を見ても男女の關係は此の『人』の文字が顯はす觀念で說明し去ることが出來る近來は『新しい女』と名乘かけて出て來る『男のする位の事は私達だつて出來る』と云つた意氣込みで活動の舞臺で男子が他所除けにする樣な事が自然に婦人の手に奪はれた事も少からずある、此は世界大戰の結果男子が當つて居た仕事の結果と見ねばなるまいから敢て怪しむにも足らない事である、何の事はない各國が競うて軍備を擴張して行けば必ずや一度は戰爭を惹起す樣な事件の勃發するに極つて居る樣に女子教育を獎勵して來た結果は男子のする仕事は私達にも出來る』といふ自覺が婦人の間に起つて來るは當然の事である併し如何に『女』が新しがつたからとて『性』を變へる事は全然不可能の事である、男が女になる事も出來なければ女が男になる事も出來ない、女らしい男があり男らしい女があるとしても『性』を取り變へたのではない、兩性の區別は永久に存するものとすれば男女の分業的天分も斷じて混ぜ返す事は出來ない理由がある

各地の物價

品名	安東縣	奉天	長春	吉林	間島	大連
白米	三十八錢	上四十五錢	四十四錢	四十錢	五十錢	四十三四錢
醤油	五十錢	上七十錢	六十錢	上七十錢	七十五錢	五十五錢
砂糖	十六錢	十八錢	十五錢	十四錢	二十錢	十七錢
食鹽	十三錢	(百匁)六錢	七錢	(百匁)七錢	支那斤三十錢	十三錢
牛肉	二十二錢	上六十錢	上三十四錢	二十五錢	三十錢	六十錢
鷄肉	六十錢	(斤)七十錢	五十錢	四十錢	一羽八十錢	八十錢
鷄卵	四十錢	三十八錢	五十錢	三個十錢	五十錢	四十錢
石油	六錢	十二錢	七錢	洋銀百五十匁三十一錢	十二錢五厘	七錢
日本酒	一圓二十錢	一圓二十錢	一圓三四十錢	一圓二十錢	一圓二十錢	一圓六十錢
飲料水	二錢	至十五錢	三十荷五十錢	石油罐一杯[illegible]	遠近にて差あり	二錢
家賃	溫突一間五圓	坪當二三圓	……	支那一間洋銀四圓	溫突一間三圓	一疊一枚五十錢
理髮	五十錢	四十錢	四十五錢	四十錢	三十五錢	四十五錢
髭剃	二十錢	二十錢	二十五錢	二十錢	二十錢	二十錢
湯錢	六錢	六錢	六錢	日本湯十五錢 支那湯	日本湯十五錢 支那湯	六錢
髮結	上三十錢 下二十錢	三十錢	三十錢	普通二十錢 島田五十錢	……	二十五錢
旅館	三圓	四五圓	四圓	四圓位	二圓五十錢	三圓
旅館の酒	二十錢	二十錢	二十五錢	二十錢	小十八錢	三十錢
料理屋の酒	二十錢	二十五錢	二十五錢	二十五錢	小二十錢	三十五錢
藝妓	二圓	二圓五十錢	二圓五十錢	一圓五十錢	一圓	一圓五十錢

商況

東京株式特電

東京現株中値

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

兵庫期米特電

八日後場	
寄付	三九、〇五
高値	三九、〇五
安値	三八、八九
止め	三八、八九

雜報

◎正米昂騰す

正米は定期高と買物節に煽られ徐々漸騰歩調にて十一日午前中は普通物三十七圓より十錢見當を唱へられ九日午前中より二三十錢高の見當にて荷主は先高見越と現在籾價との比較上頗る強硬の態度を持し居れり而して今日の白米相場は大阪神戸の四十五圓見當なれば當地相場は約一圓方の割高にて之より打算すれば當地相場にて此際移出商談の纏まるものなく籾米所としては原料の買手は方針を取りつゝありと雖も今向前約注文と擬ぎり之が精搗に従はり居れる……

◎白米値上げ

五十錢方昂騰

白米は原料高に伴ひ市中卸値四十八日午後より五十錢……

引上げ

五厘方

……

◎粗布小弛む

粗布は鮮正中の商内閑散なりしと在荷も一時に出し泥濘なる爲其筋氣配も軟勢を辿り昨今粗布三一……

晒金巾

其他雜貨物も同様步調なりき金巾のみは相變らずの品薄底堅し

◎洋紙氣安し

成立以來商品の大部分は漸落歩調を辿れるに反し洋紙市場は依然紙付社側の態度強硬にて各社協定値段を垂も引下げざるが如き要家側にありては諸物價の下落を豫め先安見越の念に驅られ一般に仕入を手控へ居れるを以て閑散期にあることゝて氣配幾分安含みにて最近の内地相場は印刷紙白當子印旗印は各一圓安され一白ボール及び茶ボールは孰れも二圓方低落し包紙類は品物の滯澤のため二圓安にて商狀頗る不味を呈し居れり

◎分蜜糖小康

分蜜糖は分蜜糖一進一退の商狀を呈せしが新糖保稅先物買方前氣疲れ氣味にて買控へしより又復十三錢小綾く寄附き商談進捗せず……

精糖

……

赤黑糖

……

寒天は昂騰

……

淺草海苔昂騰

……

約一割高

……

南大門廻穀

沙里院綠豆五四、水原白米二八叺、水原玄米九二叺、汝山籾一七叺、水原白米六叺、新禮大豆三六叺、長湍籾三〇叺、平壤粉豆五四叺、沙里院玄米五四叺、長湍籾三一叺、平壤豆二七叺、金堤胡麻一二叺、鐵原籾二二〇叺、水原籾二〇〇叺

京城正米

定期高と先高見越しにて荷主の態度日に增し強硬を加へ相場は昨午前に比し更に二三十錢の高見、に上り本日は八中より更に二三十錢見當にて上物三十七圓最底三十五圓九十錢踊物三十四圓七十錢にて出來せしが何分內地に比し割高を卯き昨今移出商談途切れ居る事なれば精米取は可及的手控え方針を取居れり

仁川正米

鮮人非常にて三十五圓七十錢より六圓見當を唱ひ居るも更に商……

生魚市場

京城日丸市場
連日品薄にて依然氣配高しサバ三〇サヨリ六〇……

各地商況

八日

木浦米況
▲玄米(二十錢) 高玄米は大阪發戒の爲にも一時三十錢高含み然も買氣當地にては依然買物無く手合に至らざるも三十八圓の賣に對し三十七圓八十錢の買三十七……

仁川期米

▲十日前場(沸騰後弛み)

第一節各地入電未著なるも正米高を參して人氣沸騰し當限來不(寄付)先三十八圓九十錢と三十八錢と上放れに寄付……更に三十錢

丁度と沸騰

……

崩れ八十一錢

東京三十八圓六十錢兵庫三十八圓八十九錢止め

▲今朝天候晴天各地入電未著なるも當地正米高を入れて人氣沸騰し立會は先限三十八圓九十錢より八十錢と弛みしも……

物續出し安値掴みの前

……

下關糶場

▲朝鮮米も……

市場雜觀

仁川(米豆)取引所

十日の四月限

北濱だより

……

開業廣告

穀貿易精米業

弘部精米所

新義州驛前

電話一一一番

米穀叺商 金子想一郎
京釜線伊院

▲土地株

……

仁川米豆取引所仲買人
齋藤榮之助

汽車

京釜線（南行）

同（北行）

馬山線

同

京義線（北行）

同（南行）

京仁線（仁川行）

京元線（北行）

同（南行）

京城日報 第五版
本紙定價 …
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

…日本と何等打合せを經ずして日…紹儀氏は五月附…及び日支軍事協定たるは巴里に於ける支那委員の言…徹にして之を日本が繼承すべき事…合諸國間に於ては諒解あるものに…

憲法發布三十年記念

憲法發布三十年記念

京城日報

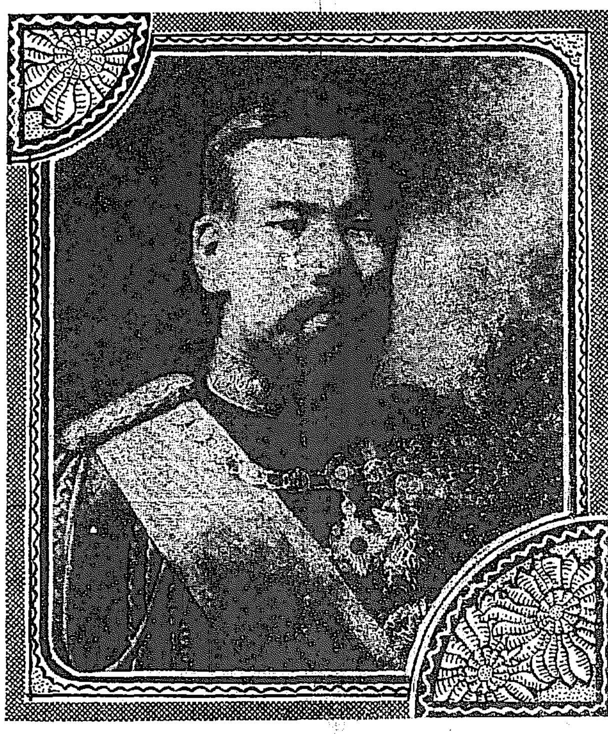
帝國憲法發布後正に三十年、其の大義を解釋するに就きて、其の運用に當りて、時に遺憾を覺ゆるものなきにあらずと雖も、大體に於て憲政の旨義、上下に通融し、國運の進展隆々として能く之を襲ぐものなきの狀態に在ることは、吾人の最も快感を禁じ能はざる所なりとす。今月今日其の三十年記念の佳日に當り、東京に於ては貴衆兩院の發起にて、青山なる憲法記念館に、特に聖駕の臨幸を請ひ奉り、盛大なる祝賀の式を行ひ、又各地に於いても相當なる祝意を表するに怠らざることは、帝國臣民として當然の擧にして、吾人も亦滿腹の賀意を呈する所なりとす。唯其れ朝鮮に於ては合併の後、日猶淺く、統治の關係上未だ憲法の恩惠に浴する能はざるは、吾人千六百萬の同胞と共に、甚だしき遺憾を感ずる所なるも、現今の狀態にては之を如何ともすべからず。若夫鮮人一證の國家に對する觀念今一層進歩し、其智德の一階段を進め、母國と眞正の同化を遂げたる曉には、當然憲法の恩澤に浴するを得べく、諺に桃李言はず、下自ら蹊を成すといへり、吾人は此際に於いて鮮人同胞の自覺を望むや、更に切なり。

惟ふに戰後に於ける各國の運勢は、方に一轉すべき樞機の上に立てり。中には新を求め舊を厭ふの極、其の固有の思想と、其の特異なる歴史的文明を捨て、一意に突進を試み、却つて邦家の潰亂を來したるものさへありと雖も、幸ひに我日本帝國のみは、是等の妖氛擾亂に漬さるゝことなく、巍然として東洋の海表に卓立し、金甌無缺の國體を維持するのみならず、國威國勢、旭日の昇るが如きものあり。是れ上御一人の御稜威に賴る勿論なりと雖も、亦國民思想の堅確にして、幾多の邪論僻議も、其間に竄入するの餘地を有せざるに由らずんばあらず。鮮人中の先覺者は固より世界の大勢を察知し、一日も早く母國に同化するの急務を認め、極力之に盡瘁しつゝあるもの少きにあらずと雖も、多數の同胞は尚未だ舊夢を醒覺するに至らず、或は昏々として國家の成立と、國體の如何を認知せざるものあるは、事實の掩ふべからざる所にして、吾人が鮮人の爲に憂へ、鮮人のために憾むもの洵に之がためのみ。吾人固より半島を擧げて帝國憲法の惠澤に浴するの日の何時に在るを豫測する能はざるも、併合の根本義に考へて、早晩其期の到來せざるべからざるを知る、而も之を致すの遲速は、實に鮮人同胞の自覺如何に在るべし。三十年記念の今日に於て特に之を以て一千六百萬同胞の醒覺を促すと云爾。

著しき憲政の發達

貴族院議員 子爵 前田利定氏談

我が憲法が發布せられてより既に三十年の星霜を經たのである此記念すべき祝典に際し過去三十年間を追想して共に語り合ふといふ事は大いに快とする所ではあるが何分にも予として甚だ感慨の深からぬ事を此上無く遺憾とする何故に當初より政事に携はらなかつた爲めに憲政の今日に至る迄を能く知る事の出來ない爲めである併し知らぬでもないが實地に携はらぬ爲め其當時の感想を喚び起す事が出來ない故である當時政治に携はつてゐた人々は當時を追懷して感慨深いものがあらうが予の議會に頭を出すに至つたのは恰も日露の國交破れ東洋の天地に暗雲の漲つてゐた明治三十七年で此時は既に國費も二三億に昇り鐵道も國有の時で波瀾といふものは極めて少くなつた時である曲折變化に富んだ十有餘年間を知らない事を自ら深く遺憾とする所であるが今腦裡の一隅より三十年前の記憶を呼び起して見ると幽かながらも其時代を偲ぶ事は出來るが此記憶は甚だ興味深きものである三十年前の今月今日即ち明治二十二年の二月十一日こそ初めて我が憲法の發布せられた忘るべからざる記念日である恰も三十年前の二月十日即ち發布の前日は野も山も田も畑も皆一樣の白皚々たる雪に埋もれ翌十一日即ち愈々發布せらるべき當日も猶昨日の名殘を存し時ならぬ白妙の花は大内山の松ヶ枝に咲き誇つてゐた當時予は學習院中學部三年生であつた漸く十六歲の聲を聞いた許りの予等には此發布せらるべき憲法の深い意味を解する事が出來なかつた只教師の『外國は血を以て憲法を布設してゐるが我帝國に於ては泰平無事の裡に憲法の發布を見るといふのは實に目出度い事ではないか』といふ説明に依つて漸く憲法發布の目出度い事を知つた位でそれでもまだ深い感興を持つ事は出來なかつた只無意識に目出度いとしてゐたのである其當時學習院は今の虎の門女學校の處にあつて今でも女學院に遺存されてゐる高樓がある即ち歐洲熱の旺盛なる時代には舞踏場とまで迄された樓であるが其處に於て祝賀會が開催せられ餘興も種々あつたのである不吉ながら當日時の文部大臣森有禮氏の横死も記憶に遺つてゐるものの只往時を追想すれば興味の極めて深い是れ等の事許りである然し當時より憲政は改善に改善されて今日に於ては甚だしき進歩を來してゐるのである未だ決定はしないが選擧法改正問題も大分喧しくなつてゐるらしく又政黨內閣の出現等に就て三十年前に於ては誰一人想像すら爲た者があらうか然し今日では事實上に現はれ斯くして益々進歩して行くのであらう兎に角往時の感想は餘り深くはないが今日此三十年記念祝典に際しては衷心より慶意を表する次第である(東京支局)



明治大帝尊像

爲すべき急務

貴族院議員 山脇玄氏談

近時我が國に民本主義の聲が高い。之を以て一部識者間には危險思想なりとなして居る者もあるやうであるが、夫は所謂一種の杞憂である。何となれば我國は古來から民を本とした政治であつて、此等の疑念は彼の慶應四年三月に御發布になつた五箇條の御誓文並に憲法發布の勅語等を拜讀したならば釋然たることである。然るに民本主義の聲の高く世間が之を問題とするに至つてゐるのは、即ち民衆が眞の憲政を——眞に徹底した所の憲法政治を要求するに至つてゐるといふことを證するものである。換言すれば憲法政治とは凡を名のみであつて、其實具體的に行はれてゐない爲めではなからうか。又世間には民心統一の要を叫んでゐる者がある、是れ勿論重要なる問題たるを失はないが其前に先づ現代日本に行はれてゐる政治なるものゝ現狀を攻究して見る必要は無からうか。即ち政治の要は民衆の保全を圖るといふことが第一の要務である、是れ即ち民心の統一を來さしむるものである。而して凡そ一國の富なるものは民衆によつて成るものである。其武力の強さをなす所以も民にある。所謂民が本であるといふことに歸着するのである。然るに之れを壓迫して彼等が生活の安定を得ることが出來なくなつたらどうであらう。否、既に我國の現狀は餘程此處に考へをいたすべき狀態に陷りつゝあるは各方面より之れを認めることが出來る。殊に下層民の生活狀態を改革するといふことは、目下の急務であると信ずる。然り憲法政治の實效は斯る點にも最も有效に及ばなければならない。從つて立憲政治は政治上に於て民の自由を重んずると同時に、產業上、經濟上の事にも所謂民本主義を行ふやうにしなければならないのである。之れを要するに現下我が國の急務は、社會政策の攻究といふことにあらねばならぬ。民本主義といふことも之れの擴まるゝに至つて始めて其の實の擧がるものである。殊に社會政策の急務は下層社會の改善で、其理由は國富を成す生產力は下層民の努力に據りて成るのであるから、殊に一日緩急ある場合は彼等の力に須つこと大なるは茲に贅言を要せざる處であるから、何うしても彼等の生活を平素より安定を保たしむるやうな方策に出でゝ置かなければならない。此方法としては勞働保險を設けるなり食物を安價にするなり住所の安定を與へるなり職業紹介所の完全なるものを設立等があらう。斯く他動的に遣ると同時に自動的にも亦彼等自身に諸種の組合の如きものを設けしめて以て彼等の地位を安固にするやうにしなければならぬ。之れをさへ爲さずして、如何でか民心の統一をも成すことが出來やう。是れを爲してこそ始めて立憲政治も其效を擧ぐるに至つたと謂ふべきである。敢て之れを枝葉の論と爲すものあらば、那は最も己れの謬まれるものであることを知らぬ時勢を觀るに迂遠なるものであらねばならぬ(東京支局)

聖壽萬歲を奉祝す

衆議院議長 大岡育造氏談

歳月の經過は實に早いもので、我が帝國憲法の發布せられてより爰に三十年、而して今や此の第三十年記念祝賀會を行ふことになつた。顧みれば明治十四年に來る二十三年を期して議會を召集し國會を開會すべき勅諭を拜した時には、未だ之から十年を經なければならぬのかと嘆聲を發する者が諸所にあつた。然るに其から十年の月日は忽として夢の如くに經過し、乃ち第九年目の明治二十二年二月十一日に、愈々憲法は發布さるゝことになつた。爾來爰に三十年、世界の危機に際し、獨り我が國は貴衆兩院聯合して、憲法記念館に陛下の行幸を仰ぎ此祝典を行ふに到つたことは、誠に目出度いことゝ思ふ。一體此三十年といふことに特別な意義由來があるかどうか。歴史を繙いて見ると凡そ百年に一回は、世界の大戰が起つてゐる。奈翁一世の大戰亂終熄してから將に一百年にして、這回の大戰亂が起つたのである。日本も十年目每に國際上の大事に接するやうなことに從來はなつてゐる。乃ち日清、日露の三戰役を經過して來てゐる。之等のことを思ふと、天地の間自から宿命ありと信ぜざるを得ない。然らば前述三十年間に日本は如何なる段落と解決とを見るに至りしか。明治の維新は十年目を以て一段落をつけしも未だ以て大成せりとすることが出來なかつた。何となれば、外國との條約の改正は行はれないで、治外法權といふものが依然存在して居つた。日本の裁判權は日本の領土內に於ける外國人にまで及ばなかつたのである。故に內には維新の業成れりといふものゝ、外に對しては獨立を全うすることが出來なかつたのである。夫が明治二十七年の戰役當時に漸く先づ條約改正上に於て英國の同意を得るに至つた。然し夫も條件付きで、他の各國が同意すればといふことであつたのである。又日本の法律が文明的になることをも條件としたのであつた。斯くして日本は三十年前に於て、先づ對外的にも不完全乍らも獨立した國家の面目だけは備へることが出來たのである。此れを思ふ時は、實に吾人は此の三十年と云ふ年に興味あることを感ぜざるを得ない。遡つて、此の三十年に何か著しいものが發見されるかどうか。乃ち從來は憲法の下にあり乍ら猶ほ專制の遺習を脱し得なかつた我國の政治も、今や政黨內閣の成立するありて、漸く政治は常道を行くの趣きが見ゆるに至つた。而して外に對しては從來は強國の範に入ることは出來なかつたものが、否出來ることは聊か自認自識の觀なきに非ざりしものが、漸く這回の講和會議に於ては具體的に世界五大國の一に數へらるゝに至り且つ委員の數も五名といふ英佛米伊の列強諸國と同樣の位置を占め以て二三等國を指導し直接の世界の問題を決定する上に發言權を得るに至つたのである。明治大帝が『我帝國ノ光榮ヲ中外ニ宣揚』すべしと宣せられてあるが、今や正に其の實が擧つたといふものである。然り此紀念すべき絕好機會に於て尚ほ吾人は將來も永久に國民が更に發奮を新にし協力一致國威國光の宣揚に努力しなければならないことを痛感する。今や世界的改造の微妙なる機會に際し、特に著しき實は獨露等の君主政體を執れる國家の運命である。然るに獨り日本は世界無比なる萬世一系の皇室を戴き貴衆兩院議員相和して天皇より賜はれる憲法を記念する館內に陛下の臨御を迎へ奉り國運の隆昌を祝することは、我國民の慶福光榮實にこれに優るものは無いと謂ふべきである。此時に當り國民は均しく明治大皇が此不磨の大典を賜ひし御鴻恩を感謝し奉ると同時に今上陛下の聖壽萬歲を祈念し奉り共に國運の隆昌を招來する所以に向つて一層猛進しなければならない(東京支局)

祝憲法發布三十週年

雜貨卸 綿入 大田本町二丁目 箕浦商店 電話五二番

大田春日町一丁目 青柳醫院 電話一二七番

井上歯牙治術所 井上泰雄 大田幸町

各種時計 貴金屬 美術品 製作 朝鮮大田本町 臨崎時計舗 長電話一二〇番 電略(シ)又ハ(シテ) 振替京城五〇〇九番

帝國公信株式會社 南鮮支部 朝鮮大田本町二丁目八十番地

大田榮町 金甲淳 自働車部 長電話一五七番

明治生命保險株式會社 東京火災保險株式會社 大田代理店 穀物商 精米商 生野商會 大田本町一丁目 電話一九番 振替京城一八八三番

大田春日町一丁目 末吉定十

大田本町二丁目 河本鐵工部 河本加地 電話長一六三番

大田春日町 畠山源一郎

京釜線大田本町 藤井保商院 電話長一二番

大田春日町一丁目 時計貴金屬 石入指環 其他一式 石川時計店 電話一二八番

大田本町一丁目 東京そば 東庵 電話一〇一番

安藤時計店 店主 安藤磯吉 大田春日町一丁目 電話長一六一番

大田本町二丁目 米穀商 中野常一 電話長五九番 電略(ナ)又(ナカ)

大田本町二丁目 南部京平商店 電話一四五番 振替京城一〇六番

大田市場 米穀商 和田權次郎 電話長一四〇番 電略(ワ)又(ワダ)

三井物産株式會社 京城支店

祝憲法發布三十週年
京城黃金町二丁目(電話一四九六番)
日清生命保險株式會社朝鮮支社
支社長 横田瀧三郎

サッポロビール
大日本麥酒株式會社 京城出張所

祝憲法發布三十週年
上等口付卷煙草

金剛は敷島の姉妹煙として新に愛煙家の座右に供せらる、如何に品質の優長なるかを御試喫あれ
二十本入定價十錢
東亞煙草株式會社

第四十一回帝國議會

貴族院本會議（十日）

憲法發布記念祝賀上奏案決議

貴族院本會議は午前十時開會、流行性感冒の爲め缺席者頗る多く議場は辛うじて半數を維持す

▲黒田副議長 は今井五介氏請暇の件を許可し第二政顧委員長の報告に移り小笠原副委員長受願數百三十九件、人員八千四百四十二名、內院議に附するに決せるもの五十五件、附せざるに決せるもの二件、審議未了のもの二十七件なりと報告し次に第一回國勢調査施行に要する地方經費國庫支辨に關する法律案第一讀會を開き

▲横田法政局長官 本案は既に規定あるに係はらず第一回國勢調査に限り市町村にて要する經費を國庫にて支辨するを適當なりと認め提案せりと說明し委員附託次に會計檢査院法中改正法律案第一讀會を開き小笠原委員長原案を決せる旨報告し讀會省略の動議を可とし

▲坂本釤之助氏 檢査官增減の沿革を問ひ小笠原委員長委員會にては現在十四名なるを十七名に增員する說明を得たる迄でなりと答へ坂本氏と馬場政府委員の間に問答あり讀會省略可決確定す次に憲法發布三十年記念祝賀上奏案の議事を開き總委員長

▲德川賴倫侯 登壇委員會の經過及び結果を報告し祝賀上奏文案（別項）を朗讀することゝなり滿場肅として敬聽し全會一致にて可決確定す

上奏文

貴族院議長臣德川家達誠恐誠惶謹ミテ敬畢允武天皇陛下ニ奏ス伏テ惟ミルニ先帝仁ヘノ德ヲ以テ世界ノ進運ニ鑑ミ給ヒ我臣民ノ幸福ヲ增進シ其ノ德聚能ヲ發達セシメ復其ノ憲政ニ依リ帝國ノ不朽ヲ永久ニ鞏固ニスルノ叡旨ヲ以テ帝國憲法ヲ制定シ朝野和氣藹々ノ裡ニ之ヲ發布シ給ヘリ謹ミテ按スルニ我皇祖皇宗國ヲ肇メ基ヲ建テ給ヒシ以降列聖其ノ緒ヲ嗣キ國家統治ノ天職ヲ盡サセラレ王ヲ本トシ神術ヲ布ケ天民ノ關係恒ニ親密ニシテ義ハ即チ君臣情ハ即チ父子ノ如ク專ラ萬國無比ノ國體ヲ成ス其由來スル所ロ洵ニ久遠ナリ憲法ノ條章ハ歐洲諸國ノ制令ニ參酌セラルゝトコロアリト雖モ其理義ニ於テハ前烈ヲ追ヒ遺訓ヲ弘メ臣民遵由ノ途ヲ示シ給ヒシモノナリ古來ノ美風良俗ハ之ニ依リ益々闡明セラレ大ニ其效果ヲ發スルニ至レリ陛下先帝ノ遺範ヲ紹述シ給ヒ前後三十年其ノ間屢々國家內外多難ニ遭遇セシモ憲法ノ運用圓滑ニ進ミ其效果燦然トシテ見ル可キモノアリ皇基倍々張リ庶績諸レ廣マル臣等益々奮勵努力各々其本分ヲ竭シテ以テ隆治ノ萬一ニ裨補センヿヲ期ス茲ニ恭シク皇恩ノ優渥ヲ謝シ寶祚ノ無窮聖壽ノ萬歲ヲ禱リ奉ル

次に大正六年法律第六號軍人恩給法規則改正の請願、入營恩給法中改正の請願、日本住血吸蟲病豫防撲滅事業費國庫補助の請願を一括して議題とし

▲三宅秀氏 登壇主旨は賛成なるも二萬圓の補助にては不足なり之を以て病院防の爲めには不足なり之を徹底せしむる爲め追加豫算を提出すべしと述べ

▲杉山衛生局長 之に對し本請願の趣意は之を容るゝに吝ならずと答へ尙石黒忠悳男より本項目が通過せざるも政府は他の方法により應急の手段を採るやと質し杉山局長是非豫算の成立を期待し之を實行する方針なりと答へ三請願共可決す尙ほ憲法發布上奏文捧呈は議長一任に決し散會す

口行幸御中止

天皇陛下には十一日葉山より還幸紀元節の御式を濟ませられ青山の憲法記念館に行幸の筈なりしも八日以來輕微の御風氣に罹らせられたるより御中止と相成りたり（東京特電）

衆議院豫算總會（十日）

總豫算並びに追加豫算案可決

午前十時三十五分開會、

一、大正八年度一般會計歲入歲出總豫算

一、大正八年度特別會計歲入歲出豫算

一、豫算外國庫の負擔となる可き契約を爲す件

一、第一號大正八年度總豫算追加

一、第一號臨時軍事費豫算追加

一、特別會計第一號豫算が國庫負擔となる可き契約を爲す件

以上六件一括議題に附し各分科主査より分科會の經過に就き報告あり次に

▲松田源治氏（政友）文官任用令に就き文官任用の爲高等試驗は明治四十二年以來施行されつゝあるが私學出身合格者四百十一人官學出身合格者は千六百七十一人に達せり然も私學出身は合格するも樞要官職に上り得たる者無し商務省の如きは私學出身は大林區署に任用せざる內規あるやに聞けり官學閥も甚し政府所見如何

▲横田法制局長官 從來は或は斯かる現象ありしやも知れざれど幷は官學出身の多數なりし結果ならんやも知れず若し斯かる事ありとせば現內閣は之を打破するに努力すと答へ次いで希望條件討議に入り第三分科にて井上角五郎氏（政友）より提出せる食糧塩工業塩の希望に就き討議し異議無く可決次に前記六件討議に入り山本悌二郎氏（政友）原案賛成を述べ早速整爾氏（政友）は多少の意見あれど本會議に於て述ぶる事とし數字には賛成すと述べ次で鈴木梅四郎氏（國民）意見は本會議にて述ぶべきも原案に賛成すと述べ政友會の小川郷太郎氏も同樣の意見を述べ北井波治目氏（無所屬）押川方義氏（無所屬）も原案に賛成の意を表し以上六件全會一致原案通り可決同十一時十分散會せり（東京特電）

▼醫院濟生院法中改正法律案

朝鮮總督府醫院濟生院特別法中改正法律案委員會は十日午前十時四十分開會鈴木度支部長官提案理由を說明し齋藤紀一氏（政友）の質問に對し鈴木長官の答辯あり齋藤氏の審議にて全會一致原案可決十時五十五分散會せり

▼裁判所復活案

裁判所復活外二件の委員會は十日午前十時十三分開會高見之通氏（政友）及田耘平氏（憲政）等の質問あり原案可決同十一時十五分散會

◇勅語下賜の御沙汰無し

聖上陛下御風氣の爲紀元節には出御あらせられず正午の御賀宴には勅語下賜の御沙汰無く大臣外國使臣の奉答文も無かる可く尙午後六時よりの伯子男爵以下の賜餐に對しては特に伏見宮博恭王殿下御臨席遊ばさるゝ由洩れ承はる（東京特電）

◇日支協約一切提示

我委員に對する政府の訓令

支那委員は日支秘密條約公表を聲明せるが之れに對する小幡公使の報告は唯兩國に取極められたる者を當事者たる日本が差し留る第三者に發表せんとしたる手續きの點に就き支那の反省を求めたるに過ぎず決して永久に秘密に附せんとする主旨にあらず故に我政府に於ては帝國委員に對し英米佛伊四國委員會に日支軍事協約を始め日支間に締結されたる一切の協約又は取極め全部を提示すべき旨訓令したるが獨逸に利用されざる爲め新聞等に公表せざる迄なりと（東京特電）

◇強制仲裁削除

國際聯盟強制仲裁の件は米國憲法と相容れざるより遂に削除されたり一說に據れば米國委員は聯盟憲法全文を發表し米國民に一考の機會を與へんことを希望し居れりと（巴里特報）

◇徵兵條項撤廢 理由

六日夜國際聯盟憲法十一箇條制定に際し伊太利首相は徵兵を一旦廢止する時は他日復活の必要起りたる時容易ならぬ紛擾を來し遂に革命を惹起するに至るべしとの理由にて反對し佛國委員も亦之に賛成せるより右徵兵廢止に關する條項のみは國際聯盟法より撤廢さるゝこに至れり（巴里特報）

◇移民問題と濠洲

濠洲の提議したる移民問題は獨領植民地に隣接し居れる國をして同地の移民に關し自國の規則を執行せしむる事として解決すべし（倫敦報）

◇獨系墺國と合併か

獨國民議會に於る首相の聲明

獨逸宰相エベルトが六日獨逸國民議會の開會を宣したる事は既電の如くなるが其言に曰く『今や獨逸の舊制度は一掃され復活の憂ひ無く人民は他に支配さるゝを要せず自ら治めんとする決心を固めたれ吾人はワイマール時代の昔へ戻り眞理と正義と帝國たらん、而して國民議會は先づ獨逸人系墺國と獨逸との合併を歡迎すべし』と聲明せる（紐育電報）

◇墺合併と佛の警告

佛國の輿論は獨逸人系墺國と獨逸との合併に關し盛んに警告し斯る合併は獨が再びアルサス、ローレンを償ふに至らんと斷定し居れり（紐育電報）

◇米大藏卿の感謝

米國大藏卿は日本が米國大藏證券に對し五千萬弗の應募を爲したる結果日米間爲替調節に好結果を得たることを感謝の意を表せり（紐育電報）

◇古谷氏危篤

一時輕快に赴きたる代議士古谷久綱氏は又危篤に陷りて常任委員を辭せり（東京特電）

◇秋月添田兩氏出發

秋月佐都夫九日神戶發渡佛の途に就き添田壽一氏等は十一日正午橫濱解纜の西伯利丸にて渡歐すべしと（東京特電）

◎紀元節祝賀

▲軍司令部 軍司令部にては十一日午前十時より無位無勳下士判任文官同待遇者の參賀を受くる由なり當日は午前九時五十分迄に軍司令官邸に參集すべく服裝は下士は軍裝、服制無きものはフロックコート若くば羽織袴なりと

▲警務總監部 警務總監部に於ては十一日午前十時五分より同令部第一應接室にて祝賀式を催す可し

◎滿洲粟の輸入

米價暴騰して生活難を訴ふる聲も低からず旁此際調節策として滿洲粟の多量を輸入する事は極めて必要なりとし十日三井の高野氏南浦の富田鈴木の木村氏等は總督府を訪問し當局との間に何事か協議したるがその內容を聞くに滿洲粟の輸入は昨年も頗る多量に上り本年も亦多かるべき見込なれど唯輸送關係圓滑ならざるに付その點に對し當局の盡力を求むと云ふにありと如く結局粟の輸入は相當量を算する事となるべき乎

◎憲政發達經路

遞信大臣 野田卯太郎氏談

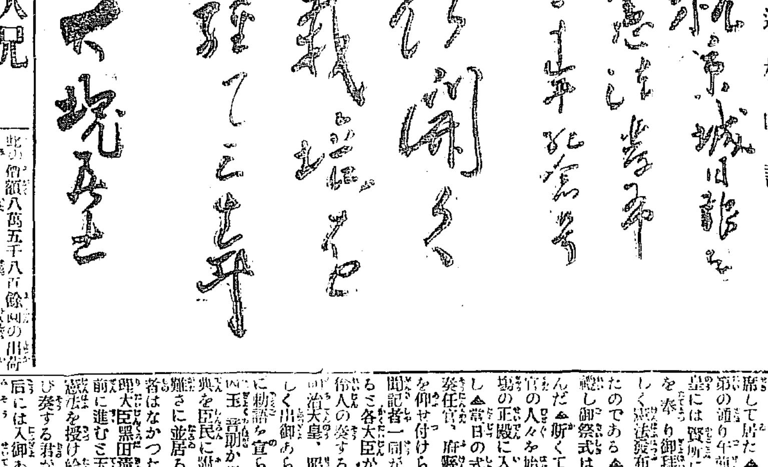
明治二十二年己丑の二月十一日の佳節を以て帝國憲法は發布せられた爾來月移り年變つて茲に三十年の星霜を經た三十年！過去つた三十年こいへば實に何でもない樣なものだが此三十年の歲月は決して短いものではない、此の

▲三十年間に 於ける世の變遷を追想し其間に於て幾多の國士が身命を賭して慘憺たる苦心を以て憲政の發達を計つた經路を顧み且つ其の結果憲政が改善に改善され培養掬育せられ益々進展しつゝあるを見れば實に感慨無量で當時を以て今日に比する時は隔世の感がある、明治二十四年十二月には初期帝國議會が解散を命ぜられ翌二十五年二月に國會議員の總選擧が行はれた此の時から我衆は漸次選擧に關係し出す樣になつたのである即ち初めは國會議員こして正々堂々と意見を上下するのではなかつたが所謂院外團といふものを組織して極力代議士を聲援したのである其の聲援たるや實に猛烈を極めたものであつた當時は博多の玄洋社の

▲最も旺盛な 時代であつて此の大勢力を有し而も活躍自在の玄洋社に對抗して大いに競つたものだ蓋し院外團は恐らく我等の組織したものを以て其の始めとするのであらう是等の團體結社の增加するに從つて選擧の困難は漸次甚だしくなり選擧の度每に血を見ぬ事は殆んど無かつたのである或は赤襷隊こか或は白襷隊こかいふものが活躍して互に鎬を削つたものである斯る間を潛り來つて三十年の今日憲法の記念祝典に際して

▲往時を快談 するのは實に此上無き欣慶であるが只目下の國務多事繁劇くり往時を追懷する時間を有せないのを遺憾こする但し此三十年來培かはれた憲政の進展を衷心より祝するの意に於ては何人にも後れを取らぬものであつて茲に一句を以て祝詞に代へることゝする（東京支局）

野田遞相吟詠



◎鮮米輸移出狀況

＝昨年中二百三十一萬石＝

昨年中に於ける朝鮮米の輸移出數量は各種の米を玄米に見積り二百三十一萬九千六百六十九石此價額は六千百五十四萬一千六百五十一圓にして之を大正六年の輸移出數量百七十五萬三千三百石價額二千七百四十一萬六千五百八圓に比すれば一躍數量に於て四十六萬九千六百十六石價額に於て三千四百十二萬五千百四十三圓の增加を示し

▲未曾有の盛況 を呈せり昨春以來對外輸出の制限に依り支那及び露國等への供給不振なりし前年の輸出額五十八萬一千餘石に比し三十八萬二千餘石を減少せるも內地に於ける米界異常の現象に依り數年來の好景氣に伴なふ米穀消費量の增大並に通貨膨脹等の諸原因相重なりて市價の奔騰著しく之が爲め諸種の調節策續出し米の補給頗る重要視せらるゝに至り殊に鐵道開通に入りて以來取引彌々繁劇を加へ移出額二百十一萬九千餘石に對し前年に比し九十五萬一千餘石の增進を告げたるが

▲如上の增加を來せる結局輸移出石數のみならず內地の形勢に煽られた價の昂騰に依り價額も膨大一層顯著なるものありしなり今各種に就き前年と比較して增減を示せば左の如し

種別	大正七年	大正六年	增減(△)
玄米	一、〇八〇、〇八一石	五一三、八九二石	五六六、一八九石
	二九、七四四、五九九圓	七、九八〇、三五五圓	二一、七六四、二四四圓
中白米	一、八一七、一一一石	一、二一三、二三三石	六、三八八石
	六〇、三二九、四二二圓	一五、[illegible]八二一圓	四三、七五六、[illegible]圓
精米	九二六、五九九石	九二四、一三五石	二、四六四石
	二九、〇〇九、二四六圓	一七、[illegible]圓	一一、六一三、六四〇圓
粃	二、一〇一石	四〇、八一五石	△三八、七一四石
	二一、四八六圓	三三二、四三九圓	△三一〇、九五三圓
粉米	一〇〇、三五九石	九二、〇〇七石	八、三五二石
	二、〇六八、九六二圓	[illegible]	[illegible]
其他の米	六、〇四八石	[illegible]	[illegible]
	九四、四一六圓	[illegible]	[illegible]

米の輸出販路は支那及び露領亞細亞を以て取引地とせるが本年に至り偶々時局の影響に依り利に對し元山港積出し精米三千六十六石此の價額八萬五千八百餘圓の出荷を見るに至りしは新なる現象と云ふべし

◎押査委員會

十日午後二時より總督府第一會議室に於て高等土地調査委員會開會同四時散會せり

◎連帶運送取扱改正

滿鐵京城管理局に於ては澤山兄弟商會との海陸連帶貨物運送取扱の手續き中左の通り引下改正したるが本月十一日より之を實行す可し

▲釜山と尾道間

品目	單位	本船運賃
豆粕	一英噸（七枚）に付	五、五五
雜穀	一英噸に付	五、五五
棉	百斤に付	〇、三三
雜穀	同	[illegible]

鳥瞰錄

今日は紀元節で本年は殊に憲法發布三十年記念に相當するので內地各所で祝賀式のある筈だ▲抑も憲法は明治二十二年の二月十一日に發布せられたもので此の大典の御儀式も頗る盛大なものであつた▲發布式の當日即ち三十年前の今月今日は夜來の雨が雪と變じて午前六時頃には早五六寸も積つて七時八時になつても猶は歇まなかつた▲宮中に於かせられては早朝から式典の準備が出來て百官有司續々參內して定刻午前八時前には既に一同が着席して居た▲軈て仰せ出された次第の通り午前九時となると明治天皇には賢所に渡らせ給ひ御玉串を奉り御拜あらせられた後恭しく憲法發布の御告文を奏し給ふたのである▲畢つて群臣一同は拜禮し御祭式は茲に滯りなく相濟んだ▲斯くて午前十時には高位高官の人々を始め各國使臣一同は式場の正殿に入り玉座の左側に侍立し▲當日の式典に參列を許された奏任官、府縣會議長及び特に拜觀を仰せ付けられた各外國人並に新聞記者一同が御廊下に整列して居ると各大臣が入場する▲稍するさ伶人の奏する君が代の和樂と共に明治天皇、昭憲皇后は龍顏いと麗しく出御あらせられ諸員最敬禮裡に勅語を宣らせ給ふた▲靜寂な場に玉音朗かに透徹し今日此の大典を臣民に附與し給ふ大御心の有難さに並居る群臣何れも感泣せぬ者はなかつた▲次に當時の內閣總理大臣黑田清隆伯恭しく御前に進むと天皇は御手づから帝國憲法を授け給ふ▲終つて伶人が再び奏する君が代の和樂裡に天皇には入御あらせられ斯くて千古未曾有の盛典は芽出度く終了したのであつた▲引續いて青山練兵場で臨時觀兵式があり夜は宮中に盛大なる御祝宴が催された▲眞に千歲不滅の盛典は斯て記念を今日に止め卅年後の帝國は世界に飛躍して千古の國體は萬古に動かぬ▲日本には大昔聖德太子の憲法十七條なるものがあつたけれど其は政治の骨子を示すもので又個人的道德の規定を記したものであつて名こそ憲法だが其の實今の所謂憲法ではない▲我國の憲法は二千五百年間の歷史と習慣とを基礎として起草したものであるにかゝはらず▲百ケ條にも達せず僅に七十六條で完成して居るのは世界憲法中最も簡單明確無比の憲法である

口定例休刊

今十一日は紀元節に付同日發行の夕刊並に翌十二日發行の朝刊は定例休刊す但し重要事件突發の際は號外を以て報道すべし

◎一月京城氣象（測候所）

平均氣壓は七百六十六粍六にして平年に比し僅かに[illegible]速度は二米六を算し昨年は平年に比し僅かに顯く暴風日數四日は[illegible]は略三割五分の減量なれども雨雪日數十二日に卸て甚だ多く昨年に比し八日平年に比し四日孰れも多く結果風強く氣溫は甚だ低冷ならざりしも陰鬱多雨雪裡に越月したり（京城測候所調査）

大阪期米特電

[illegible]

仁川期米

[illegible]

仁川米豆取引所

[illegible]

祝憲法發布三十週年

大田本町二丁目 織物商 扇喜代次郎商店

大田本町二丁目 官煙元賣捌 綿絲、綿布、穀 糖 粉 肥料 辻支店 西村哲次郎

內國通運株式會社 大田取引店

大田本町二丁目 三枝藥館 電話長一五六番 振替京城六二一五五

穀物綿及輪移出入 京釜線大田 貿易商 今井辰次郎商店 長電話三六番電略（キ） 振替京城一四〇七番

大田本町 大田鐵道病院 佐藤惣太郎 長電話四九番

沃川郡青南面呂堂里 大田松島町出張所 旭鑛山

大田連孝里 大田皮革株式會社 長電話一三四番

大田本町一丁目 諸官衙御用達 一刀堂印房 電話長一〇番 振替京城九四九番

大田本町 大田電氣株式會社 電話長一四一番

祝憲法發布三十週年

群山米穀商組合

（イロハ順）

岩田宇之助 家房吉 花岡鶴松 追間泰造 半田瀧吉 西村房吉 邊鼎鑛 戶田佐太郎 林承哲 布井嘉造 川原平助 横山與市 吉永吉三郎 田中龜次郎 長田磯治 中谷新吉 中井小二郎 中柴萬吉 大園十助 群山通商合資會社 群山興農合資會社 山田太作 山田政藏 前田熊次郎 ㊂精米所 松場延太郎 不二商業株式會社 藤井廣吉 文明眞 趙平[illegible] 趙重煥 朝鮮精米株式會社 安部榮太郎 安積直吉 崔鎭八 澤田傳松 金景泰 金洪斗 金綴洙 本村恒三 三井物產株式會社 南樋松 都宗太郎 品川精米所 下田吉太郎 申錫雨 廣津吉三郎 日高千代吉 森菊五郎 森久商會

祝憲法發布三十週年

株式會社第一銀行京城支店 京城本町二丁目（電話長二一番）

株式會社百三十銀行京城支店 京城本町一丁目（電話長五八番）

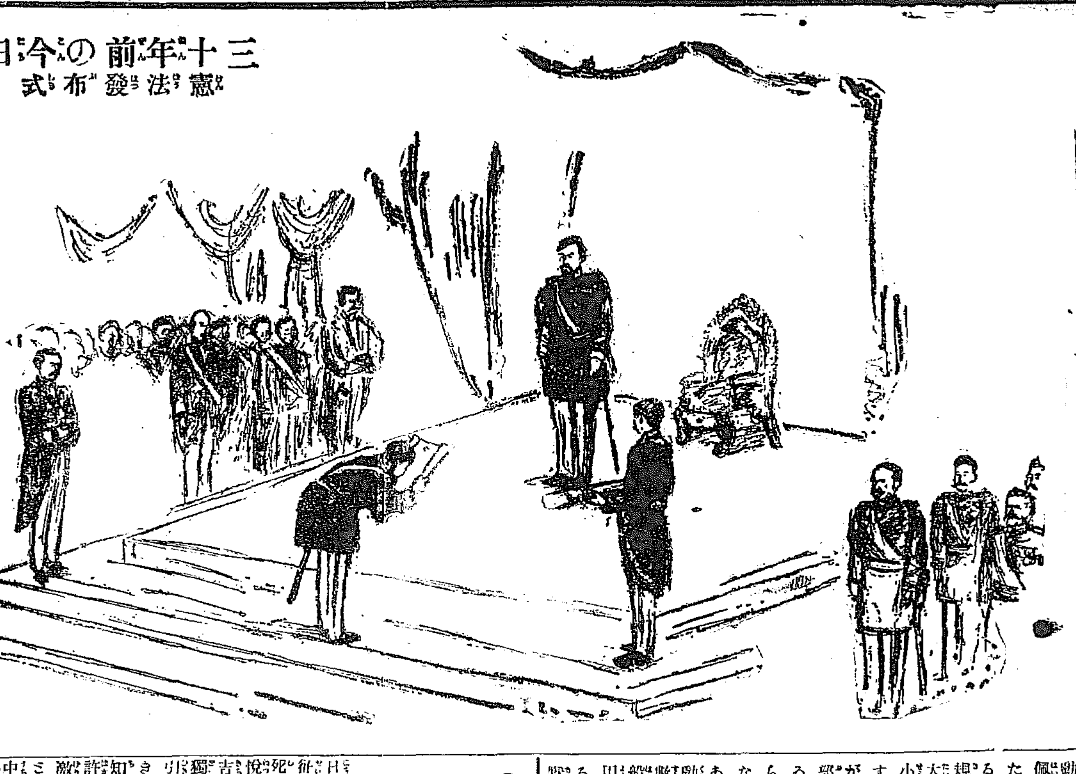
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町二丁目（電話長四二〇番）

株式會社韓一銀行 京城南大門通一丁目（電話長一八九五番）

株式會社漢城銀行 京城南大門通一丁目（電話長一八六二番）

株式會社京城銀行 京城本町二丁目（電話四三一）

株式會社朝鮮商業銀行 京城南大門通一丁目（電話五五八番）



◎伊藤公の忘れた紫の袱紗包み
三十年前の思ひ出
當夜宮中各殿の御開放

偉なる哉千古不磨の我國憲法が發布されて茲に三十年、目出たくも亦想出深き今日貴衆兩院の人々によつて盛大なる記念祝典擧行されんとするにあたり、讀者と共に發布當時の光景を偲び度い是も祝意を表する一端であらう、憲法起草者の一人にして現樞密顧問官子爵金子堅太郎氏は語つて曰く

夫は憲法發布の前の年即ち明治二十一年皇城の御造營が成り御移轉後最初の祝儀であつた恰度二十二年二月十日の晩現今の樞密院官舍に當る貴族院議長官舍で私は憲法の草案並に附屬法令の一切を整理の上函に納め之を

▽紫の袱紗 に包んで故伊藤博文公（當時貴族院議長）が書齋の卓子の上に置き明朝參內の節持つて來られる許りにして戻つたが扨て當日各大臣以下今や遲しと伊藤議長の參內を待ち構へて居ると程なく參內されたので草案はと尋ねた所議長は『ヤアすつかり忘れて來た貴君

御足勞だが是から直ぐ俺の馬車で取に

行つて呉れ』と云ふことで私は其馬車の轡を議長官舍に返させると折柄御殿は牡丹のやうな深雪がボタ〳〵と盛んに降り頻つてゐた斯くて 聖上宮中正殿に出御遊ばされたので私は

▽之を護持 して伊藤議長に隨ひ議長は御式典の際、恭しく陛下に奉つたのであるが宮中正殿に各皇族殿下を初め皇族方及び各親任官以外特に御陪食の光榮に浴したのは

故井上毅子伊東巳代治子と私の三人 で夫れは憲法の起草に與つた文武百官悉く大禮服にて整列したのは其時が初めてで實に記憶すべき千古未曾有の御盛儀であつた其夜引續き宮中豐明殿に於て御宴は催されたと云ふ有難い思召であつた親任官以外に官吏で夫妻御陪食仰付けられたのは恐らくは是が先例であらう御食事が了ると宮中大夜會となつて舞樂などの御催しがあつたが當夜は宮中の全部を御開放になつて何處の間何處の部屋に行つても

▽燭光燦爛 百花豐に咲き亂れ此間を各國の使節や高官等が珍らしい華やかな服裝を爲して織るが如く廣間や御廊下を右往左往して居たのは目も醒めるやうで其中にたつた一人米國の公使のみが燕尾服に清楚な趣きをして人目を惹いてゐたのは金銀叢中黑一點で…こでも謂はうか過ぎ去つた三十年の今日當夜の光景は今も印象に鮮かなる所である（東京）

◎葬祭場設計
愈國葬會議に廻附

葬儀葬祭場の建物假舍道路等の設計は國葬儀營廳掛總督府技師岩井長三郎氏に於て此程來銳意調製中なりしが愈々十日を以て全部出來上り中樞院國葬事務所に於ける同日の國葬會議に廻附せり詳細は十一日を以て發表さるべしと

◎國葬掛精勵

故李太王國葬掛會議は大體一段落を告げたる事既報の通りなるも掛諸員は引續き國葬事務所に詰め切り諸般の細目に就き協議を凝し九日の日曜日も各員出所執務せり

紋服に勳章佩用を許した譯
當局は斯う語る

今度紋服羽織袴（男子）白襟紋服（婦人）着用の時は既報の如く時宜に依つて功六級勳七等以下の勳章や記章褒章などを左胸部に佩用しても差支ないことになつた之に就て當局は斯う語つて居る『元來勳章や記章なぞは特に規定してある場合の外は男子は大禮服と通常禮服、婦人は大、中小禮服と通常禮服着用の節佩用するやうに定つてゐるのであるが功六級勳七等の帶勳者では大部分右のやうな服裝を用意して居ないのだから折角の勳章も徒らに保存ひ込んでゐるより外はない斯ういふことは頗る遺憾じあるばかりでなく殊に是等の帶勳者は總數の上から見ても大多數を占めてゐるのだから今回一般に紋附羽織袴着用の際でも佩用を許されるとになつたのである尤も在鄉軍人だけは以前から默認されて居た』

◎日露役の戰死者
十五年振りで獨逸から生還

日露戰役に金澤第九師團に參加出征し當時南山の激戰にて名譽の戰死を遂げたりといふ砲兵軍曹渡邊悅次郎步兵伍長阪井米吉同鈴木定吉の三名が尙生存し居り而も最近獨逸官憲の手より日本官憲の手に引渡され十五年振りにて近く懷しき本國へ歸還する旨夫々鄕里に通知あり親兄弟は勿論親戚は夢かとばかり驚き且つ喜び居る由多分南山激戰の際露軍の爲に三名共に捕虜となり西伯利の鑛山にて働き居る中歐洲戰爭勃發したるより西伯利官憲の爲に露軍に從軍し歐洲の戰線に於て活動中獨軍の爲に俘虜となりたるものならんと

◎八十一號問題となる
鍾路で人を轢いた電車
會社の辯明も有理千萬

九日午後八十一號電車が鍾路一丁目東洋生命保險會社前に於て叢井洞九十六番地金貸業金在奎を轢いた事は既報の通りであるが元來此八十一號電車は昨年十月頃にも西大門一丁目で車夫を轢いた事がある其の際

▽多少問題 を惹起したので遂に警官立會の上試驗を行つた位であつた其後運轉手仲間では同電車はブレーキの利かぬ危險車として乘務を嫌つて居た相であるが今回事故の際も急にブレーキが利かず金を轢いてから其儘進行した

▽八十尺も 後辛うじて停車した位だと云ふので又復問題になつて居る右に就き會社側の辯明を聞くに會社の電車が人を轢いた事は誠に申譯のない事であるが九日事故を起した八十一號電車が昨年も問題を起した電車か何うかまだ調て居ない而し會社としては數多

▽人命を預 る電車の事であるから注意に注意を加へ現に徹夜運轉をして了へると必ず車體の檢査を行ひ朝發車の際も同樣試驗をして居るので若し聊かでも惡い處があれば運轉させない事にして居る今回の事故がブレーキに支障のあつた結果とは思はれないが事故發生の

▽現場から 停止迄に少し距離が離れ過ぎて居た事は事實である然しながら是は速力、場所に大關係を有するもので愼重調査の上でなければ斷言が出來ない兎に角會社としては充分の注意をして居る心積である』尙被害者金在奎はセブラス病院で手當中十日終に死亡した相である

◎鐵山賣買を種に金策
大方の注意を望む
廉生氏語る

京城南山町の廉生晉波氏は內地各製鐵所に鐵礦石數十萬噸を供給する契約あるため各地に鐵山の買收を行つてゐるが鐵山の買收には權利の關係やその他色々の事情より面倒な問題が起つて閉口すると前提し氏は來社の上語る、私等が鐵山を買う場合は色々ある乃ち發見料の支拂ひだけで手打ちが出來るのもあれば鐵山の代金を拂つて買つて終うのもある、然し多くは山を賣る人に對し三哩內外の權利を與へるやうにしてゐる、然し此の三哩內外の權利は私に賣つた人若くは賣つた組合に認むるだけであつてその權利を他の人に放賣したり又その權利を質に置いたりして他人に讓つてもその他人に對しては全く私は認めない事にしてゐる此頃京城の方から來ていふ鑛山家が出て來て咸北富寧郡の鑛山を私に賣つたとか若くは讓つたとか云ふ事を材料として數萬圓の金を京城で借らうとしてゐる者があるらしい然し乍ら要するに私は左樣な權利の賣買は全く認めず事實北鮮方面に左樣な行き掛りのある鐵山はないのであるから左樣なものを信用して資金を出したりする者もあるまいけれど若しあるとすれば注意を願ひたいと思ふ

◎惡性感冒豫防液
常岡博士に依つて發明さる

流行性感冒病原菌に關し幾…決定的理由を發表したる京都府立醫學專門學校教授常岡良三博士は其後引續き流行性感冒豫防接種法を研究中なりしが今回愈完全なるワクチンを創製し八日午前九時より同校內醫學教室に於て全校學生百九十八名に接種し十日更に同校附屬病院勤務の看護婦百二十名にも該注射を施行することゝなれり（京都電報）

◇本日憲法發布卅年記念祝典を擧ぐる憲法記念館

◎第一線の寒
零下五十三度

頃日某所へ達したる黑龍州ウシュムン驛よりの書信によれば當時ウシュムン附近の最低氣温は零下四十度の寒にして第一線部隊の駐屯する地方に至つては實に攝氏零下五十三四度なりと云ふ零下四十度の寒さにて既に鬚も凍ばれ牛乳も氷となり味噌も石の如くなるに之れを超ゆる事十三四度と云ふに至つては其寒さ到底想像には及ばず屋外の步哨數分に止るも其辛苦勞難舌の盡す所に非ざるは推知するを得べし但し宅內に在れば暖室裝置宜しき爲め温暖春の如くなれば駐屯狀態は決して心配するに及ばずと

◎檢事を訴ふ
京都瀆職事件證人

京都府瀆職事件の證人として去る一月十九日より連續取調を受けつゝある京都市丸太町堀河城丹公論社長上田操吉氏は八日妻と共に召喚取調を受けたるが其取調に關し同氏は八日午前樋口檢事を相手取不當取調の告訴を提起せり（京都特電）

◎鐵原に牛疫
京城も危險

九日江原道鐵原邑內に斃口蹄病牛四頭發生せるが同地と京畿道とは接壤地にして常時肉牛及び耕牛の交通頻繁なれば京畿道は非常危險に陷りたり

◎女交りの賭博

元山仲町三丁目五番地帝國生命保險會社元山…駐在員の三好八十次郎（三七）同內縁の妻平松ちよ（三三）外に佐藤吉太郎（四一）及び…田寄代八（四一）の四名は前記…に於て花札を以て賭博…三好方…の三…の…行…として…三十五圓宛に處せられたり

◎寒稽古終了式

龍山に於て開催中なりし憲兵隊司令部職員の武術寒稽古は愈十日を以て終了せるに付き同日午後四時終了式を擧行せるが當日仕合の優勝者に對し兒島總長より賞品の寄贈あり太田高級副官之を授與せり

◎講話會

京城青年會主催となり紀元節午後七時より長谷川町銀行集會所に於て左の講話あり多數の來聽を歡迎すと

『紀元節』　朝鮮傳道主任 後藤 常吉君
『印度旅行』　總督府視學官 小河原義照君

小河原視學官は過般南洋ジャワ、スマトラ島を經て印度に至り視察を遂げて歸朝されたる由なり

演藝

▲乳姉妹 大正館にては十一日より菊池幽芳氏の原作小說乳姉妹なる…撮する筈なるが日活會社が多大の費用を投じ背景に留意して完成したる全六卷の一大悲篇にして撮影の妙言ふべからずと其他主なる寫眞は實寫耕地動物▲活劇…▲喜劇矢口の渡し（全二回興行）

▲有樂館 十一日より新喜劇活劇ニコ〳〵活劇…ガジン滑稽（偶然の結婚）人情劇…（喜劇）連續活劇（曲馬團）山谷情話（森の…）…はむべく森の朝は…特作…

◇三券番合同で踊の稽古
朝から夕方までブッ通し
追々三味の師匠も呼ぶ

京城の藝者は低級だ、イヤ藝がないなど、云ふ露骨な批評に憤慨してか但しは有理千萬と感ずつてか、其處のところは詳らかでないが京城三券番では目下共同温習會と云ふものを開いて懸命に稽古を勵んで居る、今のところ踊りだけであるが師匠は名人藝道の弟子で然も出藍の聲高き若柳…菊と云ふお婆さん日曜と祭日を除けて毎日午前十時から午後四時まで息をも繼かずブッ通しで稽古をつけると云ふ熱心に妓供の上達も案外早いらしい、稽古場は株の福助、加代、富美の家、姐さんその、十郎、三太おつや等と云つた連中が毎日二人づゝ交代で世話を燒く外大宮、松井、濟水の各取締もチョイ〳〵顏を出して監督してゐる、踊の連中は締て八十人、松竹梅の三組に分けられ一日置きに通つて居るが、券番では追々三味線その他の鳴物の師匠も呼ぶ筈である、三味線の志望者は流石に多く既に百名を超ねて居る相な、斯うして略機關が完備したら毎月一回位試驗の爲め温習會を開き度いと券番の役員は語つてゐる、何は兎もあれ結構々々……（寫眞は稽古の光景（後列中央が師匠である））

（欄外）
十八日…高さし元旦未明に於ける七百五十…二耗四を最低となせり最多風向の…概位は前々月來一定し依然西北西…主にして北西之に亞ぎ全月平均風…
既ね寒威嚴嚴にして月中低極は…十一日八時過に零下十七度五を示…したり降水量は前月に比し稍多く…總量十九耗二は平年新月に比して…
比し二日を減じ全然日照を見ざり…しこと月中四日に及たり之を要す…るに本月當地方の氣象は大陸旋風…附近を掠めたるもの稍頻多なりし
▲…一日附…の…に依り十四日…
▲井戸川少將出城 入城中なりし井戸川…
▲…第三十九旅團長は十日夜退城
▲ラボマレード氏…通過 佛國大使館附武…

神戸期米　十日前場

祝憲法發布三十週年

大田 中川旅館 電話長三番
大田學校組合管理者 大田面長 岸辰一
大田本町二丁目 矢切賴治
大田本町 千歳旅館 電話長二六番
大田本町二丁目 米穀商 石田亨商店 長電話一三番 電略（イ）又八（イシ）
大田本町一丁目 陸軍御用達 菓子商 上田日進堂
大田鉢岩里 白石鐵二郎 電話二〇五番
大田春日町 菊正宗 白鶴 松浦屋 電話一三九番
大田春日町一丁目 三巴酒造株式會社 大田出張所 長電話三五番
大田本町一丁目 菓子商 村瀨風月堂 電話一四七番
大田本町二丁目 倉元百一郎
大田榮町 米穀商 內田商店 電話
大田本町二丁目 新原材木店 長電話一三一番
大田榮町 安宅兵太
大田本町二丁目 富士木店 長電話六二番
大田 山北貞助
大田本町春日町 浦元材木店 濱直 長電話一〇八番
大田 烟草卸商 藤本清七
大田榮町一丁目 竹腰一憲

祝憲法發布三十年紀念
京釜線大田
株式會社漢城銀行大田支店
電話長一一〇 振替口座一一九番
支配人 富永是保

念
朝鮮大田本町 醬油味噌釀造元 辻謹之助
電話長五八番 振替京城二六九番

辯護士 前代議士 大久保雅彥 京城旭町一丁目一三一 電話長八三九番
辯護士 法學士 赤尾虎吉 京城黃金町二丁目 電話一六三九番
辯護士 法學士 內田守藏 京城竹添町二六〇番地 電話長二六二七番
辯護士 法學士 前衆議院議員 朝倉外茂鐵 京城西小門町 電話一六八二番
辯護士 前代議士 木尾虎之助 京城三角町七一 電話長三七五番

母と子　（百八）

北島春石作　森田久畫

鐵の影（一）

高松朔平は再び立つべき見込みがなかつた。

五年間に亘つて世界をつゝめる戰雲が濃密なる頃は、どんな怪しい株も天井知らずに飛上がる一方で、一時は濡手に粟を攫み得もしたれ、だしぬけに講和風が吹き出してからは、槿花一朝の夢を見てゐた成金はいづれも元の歩に還り、殊に朦朧組の朔平などは一溜りもなく蹶倒された。

サテ人間も一度ぐれ始めになつたらどこまで落込んでも踏止りがつかず、する事なす事躪の喰ひ違つて、何うして足掻がつくものでない。

彼の猪狩に口を利かせ、神崎昇一郎からうまく〳〵と一萬の金を引出したのは上出來なれど、その大部分を淡紅子に持逃され一時はこの年齢をして首を縊らうとも思つたが、それも未練があつて出來ず、やうやく志保子の行方を嗅出て取戻し、伊豆の伊東まで引つ張り出して因果を含め、あまり非出たからぬ高砂を恥ひ納めたが、いつ何時、志保子が良人に懺悔をしないとも限らねば、その警戒をするため、懲りうして三日にあげず神崎家へ出入をしてゐる。

而も兜町に於る最後の一戰も脆く破れて、二の矢を繼ぐ元氣もなく、まるで近頃は氣脱けのした有樣。

中洲のお房様といふ位があるお蔭で、取次も待たずに出入の特權を與へられた朔平が今しも神崎家の玄關へかゝると、今日は顔馴染の書生も見えず、わざ〳〵小間使を呼出す手數にも及ばぬとまじこ思つたから、その儘ずつと玄關をあがり、案内知つた娘の居間へ通らんとすると、ふと應接室から洩れ出でた男女の聲。

いつも心の秘密に惱まされてゐるだけ、何かと思つて物に立寄れば、淡紅子に大金を攫はせて誘き出した佐久間證一が、何處で何う嗅ぎ付けたものか、この神崎家まで押し掛け、志保子の弱點に附入つて脅喝取財を行はんとの眞最中。

それと知るや『わ、……その話なら俺がつけてくれよう』とばかり、一時は年甲斐もなく赫として飛込まんとしたが、志保子の優しい心が却つて敵を屈服せしめ、つひには證一も兜を脱いで立去る樣子に、今日だけは彼奴を見遁すこそよけれと、朔平は書生部屋へ小隱れし、その立去るを待つて應接室へ入つて行つたが、志保子の決心がよく呑込めてゐるだけ、良人の昇一郎に懺悔されるのが何よりも怖ろしく、わが娘に對してまでもその卑屈心を曝け出した。

『なあ、志保子……』と、いかにも怖れ切つた樣子で『何しろそんな、だしぬけに飛込んだでいさぞ驚きもしたらうが、先刻からの事情は殘らず盗聽きしたから、證一の悪黨をとつて押へもせずに、今日のところは目を瞑つて見遁したのも、今度は俺から改めて頼みがあればこそぢや。お前は良人に對して一切の事情を懺悔する意で居ると見たが……いやそれも無理でない。子を見ること親にしかずや、俺には秘密に困むお前の心が察しられ、さぞ苦しからうと思つて居るが、何うか、この親を助けるために、こゝ暫くは何にも言はずにくれ。その代りには、もう一度繰返して誓ふが、淡紅子の非は赦して證一と夫婦にしてやらう……なあ、俺も出來ぬ堪忍をするのだから、お前もお父さんの依頼を聞いてくれ。』

さう父親から縋られて見れば、志保子とてわが心の儘にも振舞へない。

『わゝ、わたしは死んだ氣で辛抱をいたしませう。自分一人がみんなの犠牲になるのも、宿世からさだまる悲しい運命でせうから。』と言ふより外なかつた。

その一言に依れば、いかに強くは見れても、志保子はやつぱり弱い女であつたのか……

人參エキス

京城本町壹・電話一四八〇番 八七〇番

㋡津村兄弟商會

日報柳壇

劍花坊選

敏活に兵營を出る日曜日　笑城
初暦こもかく飲める日數へ　凸坊
發特しても女房は古ければ　同
元日は細君になる山の神　同
日の丸の法被で意氣な配達夫　柔雨
十日目の油斷で消る惜しい星　詩腕坊
旅日記宿の女中の名がゐり　同
新入の名を羅馬字で書く日記　同
人間が殖えて日本米が無し　尺
日本の女優に獨須摩子の名　同溪

新刊紹介

▲少年國民新聞（一四）五錢　東京赤坂區窪町　小國民修發行
▲人格と幸福（七の一）九錢　京都市醍醐　國熊寺小松明治修發會
▲角力世界（特別號）三十錢　東京京橋區築地一ノ二　共社
▲寫眞少年（二月號）卷頭に寫眞版數葉を收め讀み物も少年向きの面白きもの集めあり（二十錢　東京淺草柏木町光圖）
▲教育時論（一月二十五日號）十二錢　東京麴町區飯田町開發社

高等美術　御寫眞　河原寫眞館　京城旭町一丁目　電話一九八一番　撮影迅速丁寧

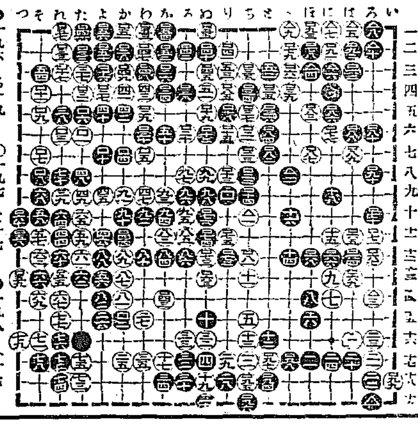
▲青年雄辯（二月號）世界に於ける紛擾問題（安部磯雄）犯罪に對する社會の責任（鳥潮花）京城民心統一論（新渡戸博士）資本家の反省と勞働者の反省（北沢早大教授）青年を裏切りたる朝日新聞（社中同人）主義に殉ぜる新聞記者月日（天眼樓人）須磨子論（諸家）大雄辯家の總物語（流水學人）等三十五錢
▲平民（二月號）一部三錢　東京京橋區木挽町六ノ一〇　生活社
▲青年（二月號）政治評論雜誌　定價二十五錢　東京本郷區駒込神明町猶興社

お惣菜帳

◇鯛の刺身　鯛を刺身に作りて粗を二寸位に切り鹽に刺し横に鄙のやうに剝ぎこと淡水にしばしば漬け置きクル〳〵卷いて小口から刻み、水に放ちて笊に揚げて水氣を切り、胡瓜をも相並べて細く繊に切り、鯛の刺身に山葵、水、揃ゑ心でおしらひ、大根おろし中央に添へて盛る

碁戰　第十四回

三段　山平壽
二子　白南圭



○日支間誤解

支那講和委員顧維鈞、王正廷の兩[illegible]
交渉經過を陳述せしが右支那委員は此の機會を利用し山東省[illegible]
この協約の内容を發表せんとし物議を醸したるが右に就ては支那側内に於ても日本の態度を誤解し居る[illegible]
を取消し且つ日華講和豫備會議に於て日支間に締結せられたる有らゆる[illegible]
動に基因する事明かなれども元來膠州灣及び山東省に關する日支密約なるものは一も存在せず支那人[illegible]
は膠州灣問題等と共に大正四年の日支協定中山東省に關する規約中に明記し[illegible]
して從つて帝國政府としては支那委員が巴里講和會議の席上如何なる態度を發表するも一向痛痒を感[illegible]
側に種々の誤解が生ぜしに就ては日支兩當局とも少からず迷惑を感じ居れり[illegible]

紀元二千五百七十九年

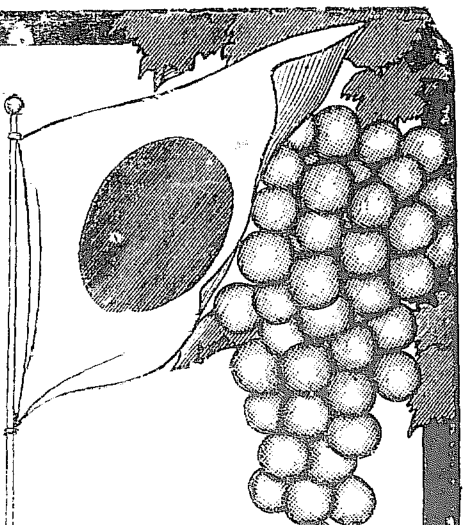
七大醫學博士の賞讃ある美味滋養の葡萄酒

赤玉ポートワインの賣行益々盛なり!!

世界的葡萄酒

博士の賞讃あり證明ある程の葡萄酒赤玉ポートワインは品質に於て特に他品に優越せる故を以て至る處に好評嘖々たり、今や有名なる病院醫學大家の藥局に藥餌用として赤玉のみを採用せるは總ての葡萄酒に卓越せる優良なるに依る。病者も虚弱者も欠かさず召上れ

特に斯の如き人はスグ召上れ
■冷え性の人　■虚弱の人
■病後の人　■衰弱の人
■食慾不進の人　■血色悪き人
飲んでキット利目がある!!



軍馬拂下公告

牡馬約百六拾頭 右本月二十五日ヨリ三日間龍山停車場前龍山臨時軍馬檢疫所ニ於テ午前十時ヨリ拂下ゲスベシ 詳細ハ當所ニ就キ承知スベシ 購買希望者ハ當日印鑑携帶ノ事

絹織物大下落　に四つ割安

當所は中央問屋呉服店數人の取扱品口銭を利益を除き大下落直接背機に最新流行品を提供仕り候 上記の品一反より御注文に應じ申候 何卒御一報を乞ふ
八端織　高貴織　男帶　女帶　銘仙　袴地
八王子物産　八王子元販賣所　電話 至急入用 八五五番へ

ブロンジ
金附機械工募集
活版印刷紙取リニ經驗アル者人數名チ募集ス希望者ハ本所ニ來談アレ
京城本町五丁目七九番地　京城印刷所

▼大好評
舊劇　蒲生三勇士
連續大冒險決死大活劇　第二回　鐵道王の娘　…第三四篇提供…
新派悲劇　蚊やり火
二月十日より　黄金館

小川勝平
法律事務所
京城本町一丁目　電話四一一番

辻川富重　仁川花房町二　電話長六九番

增井運送店　仁川驛前　電話長五三九番

祝憲法發布三十週年紀念
長蜂竝肥料商　松本要五郎　仁川宮町　電話八一五番

醸造業物酒　吉金喜三郎　仁川本町四丁目　電話長七六四番

朝鮮精米株式會社　仁川支店　仁川府濱町二丁目　電話二十一番　三二五番

御料理すし仕出し　仁川宮町　三福　電話一七八番

祝憲法發布三十年
材木商　安東縣五番通り二丁目　奥村組　電話一八六番

京城　新町遊廓　組合員一同

急告
國債の割賦販賣に關し代理店及駐在員を高給にて募集す希望者大至急履歴書並納稅證明書送付あれ
大藏大臣免許　有價證券割賦販賣業　日本國債株式會社　東京市京橋區三十間堀一ノ九

優等清酒

福岡縣三井郡山川村　醸造元　富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店　電話局一〇三九番　振替口座四三三九番
御買御願ひ

△陸軍拂下
被服類其他諸官衙拂下品販賣
京城漢江通一三（電話長三三六番）
和洋衣類拂下品　メリヤス雜貨商　佐藤古着店